

<2019年度>
第7回理事会議案書

2020年 1月17日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2019年度
第7回理事会 議事次第

一般社団法人 全国 鐵 構 工 業 協 会

場 所： 鉄 鋼 会 館 805 号 室

日 時： 2020 年 1 月 17 日 (金)
12:00~14:00

1. 開会の辞

2. 定足数確認報告 (定款第 36 条)

3. 会長挨拶

4. 前回理事会議事録の確認

5. 審議事項

資 料

第1号議案 賛助会員の新規入会承認の件 ----- [理 19-7-議 1] <p3-4>

第2号議案 2020 国際ウエルディングショーへの出展の件 --- [理 19-7-議 2] <p5-8>

6. 報告事項

(1) 働き方改革への対応について (全構協統一目標:現場作業の土日休) -[理 19-7-報 1] <p10>

(2) 台風 15、19 号等被災構成員への見舞金支払報告 ----- [理 19-7-報 2] <p11>

(3) 委員会等報告 ①運営委員会 ----- [理 19-7-報 3①]<口頭>

②技術委員会 ----- [理 19-7-報 3②]<p12-14>

③教育・人材育成委員会 ----- [理 19-7-報 3③]<口頭>

(4) その他 ----- [理 19-7-報 4]<p15-16>

7. その他の事項

(1) 構成員登録状況 ----- [理 19-7-他 1] <p18-22>

(2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ----- [理 19-7-他 2] <p23>

(3) 主要会議日程 ----- [理 19-7-他 3] <p24>

(4) 支部報告 ----- [理 19-7-他 4] <p25-42>

(5) その他

8. 閉会の辞

以上

第1号議案 賛助会員の新規入会承認の件

議案書[理 19-7-議 1] (p3～4)のとおり賛助会員として入会希望がありましたので、定款第6条第1項に基づきご審議のうえ入会を承認いただきたい。

第2号議案 2020 国際ウエルディングショーへの出展の件

議案書[理 19-7-議 2] (p5～8)のとおり 2020 国際ウエルディングショーへ出展いたしたく、ご審議のうえ承認いただきたい。

2019年10月16日

賛助会員の新規入会検討について

◎ 新規入会(希望)会社 概要

会 社 名	小 野 建 株 式 会 社																						
設 立	1949年8月11日																						
資 本 金	43億円																						
従 業 員 数	618名 (連結718名)																						
株 主	金融機関 27.74% (オーエストラスト(株) 6.9%) 個人その他 44.57%																						
主な事業内容	鉄鋼・建材流通商社 ・鋼材の販売・加工ならびに輸出入業、 ・金物・土木建築材料の販売、土木建築工事請負業、 ・不動産の売買、賃貸業等																						
主要取引先 (業界)	高炉メーカー、電炉メーカー、建材メーカー、 総合・鉄鋼商社 ※顧客(建設、鉄工、造船、機械等)																						
主要取引銀行																							
本社、支店 センター、他拠点	本社 : 福岡県北九州市 拠点 : 9支店、19営業所、5センター、その他関連拠点有																						
経営指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>(決算年月)</th><th>2015/3月</th><th>2016/3月</th><th>2017/3月</th><th>2018/3月</th><th>2019/3月</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高(百万円)</td><td>190,414</td><td>189,677</td><td>176,360</td><td>203,151</td><td>232,164</td></tr> <tr> <td>経常利益(百万円)</td><td>4,324</td><td>4,488</td><td>5,630</td><td>7,190</td><td>6,680</td></tr> </tbody> </table>					(決算年月)	2015/3月	2016/3月	2017/3月	2018/3月	2019/3月	売上高(百万円)	190,414	189,677	176,360	203,151	232,164	経常利益(百万円)	4,324	4,488	5,630	7,190	6,680
(決算年月)	2015/3月	2016/3月	2017/3月	2018/3月	2019/3月																		
売上高(百万円)	190,414	189,677	176,360	203,151	232,164																		
経常利益(百万円)	4,324	4,488	5,630	7,190	6,680																		
会 社 沿 革	1949/8月 大分県大分市に株式会社小野建材社(資本金100万円)を設立 1957/2月 商号を小野建株式会社に変更 1957/8月 小倉支店開設 ※鉄鋼商品の販売を本格化 1983/8月 大阪営業所(現大阪支店)を開設 ※鉄鋼商品の輸入取扱開始 1995/10月 東京事務所(現東京支店)を開設 1999/1月 大阪証券取引所、福岡証券取引所に上場 2003/12月 東京証券取引所市場第二部に上場 2005/3月 東京証券取引所市場第一部に指定 全国各地に支店、営業所、センターを開設																						

賛助会員 入会申込書

令和 元年 10 月 7 日

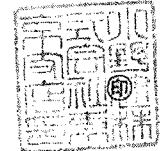
一般社団法人全国鐵構工業協会
会 長 米 森 昭 夫 殿

所 在 地 〒103-0028

会 社 名 小野建株式会社

代 表 者 代表取締役社長 小野建
役職・氏名

電 話 番 号 093-571-1431



今般、下記事項記載の上、一般社団法人全国鐵構工業協会の賛助会員として入会を申し込みます。

記

1. 資 本 金 額 4,299,803,865 円
2. 生 産 又 は
主要取扱品目 鋼材
3. 主要取引銀行 みずほ銀行
4. 連 絡 窓 口
担当部署・局名 建材部
担 当 者 役 職 課長
担 当 者 氏 名 小野 将
住 所 東京都中央区八重洲 1-3-22 八重洲龍名館ビル 2F
電 話 番 号 03-3275-2161
F A X 番 号 03-3275-2163
E-Mail アドレス m-ono@onoken.co.jp

以上

2020 年 1 月 17 日
(一社)全国鐵構工業協会

2020 国際ウェルディングショーへの出展の件

1. 2020 国際ウェルディングショーの概要

(1) 開催日時

2020 年 4 月 8 日 (水) ～11 日 (土) [10 時～17 時] <最終日 11 日(土)は 16 時まで>

(2) 開催場所

インテックス大阪 1 号館～4 号館 (大阪市住之江区南港北 1-5-102)

(3) 主催

一般社団法人日本溶接協会
産報出版株式会社

2. 当協会の対応

2 年毎に開催される本展示会には、期間中、建設関連を含む溶接技術関係者が 8 万人以上来場しており、当協会の PR にも大きな効果が期待できること、また、当協会の事業活動において連携を深めている主催者(一社)日本溶接協会から出展の推奨があったことから、以下のとおり出展(ブース設置)することとしたい。

3. 出展概要

- (1) 出展スペース ・ 1 小間 (3m×3m)
- (2) 展示物(素案) ・ 当協会紹介パネル、映像放映(鉄骨ガールと工場見学 他)
・ その他 (青年部会からの展示物含む)
- (3) 出展物検討体制 「ウェルディングショー出展物検討WG」を設置
 - ・ リーダー： 高橋・全構協副会長
 - ・ メンバー： 伊藤・全構協近畿支部長
 - ・ 上柿・奈良県鉄構建設協同組合副理事長
 - ・ 池田・全構協青年部理事
 - ・ 事務局： 平井総務部長、中村技術部課長

4. 予算(概算)

約 1,000,000 円

・出展料	250,000 円
・ブース製作	68,000 円
・展示物製作費等	680,000 円
その他諸費用	

以 上

●2020 JAPAN 国際 INTERNATIONAL WELDING SHOW 2020 ウェルディングショー

<https://weldingshow.jp/>

溶接・接合, 切断のチカラ
— 匠の技とデジタル技術の融合 —

出展のご案内

2020年 4月8日 [水] ▶ 11日 [土]

10:00～17:00 *最終日4/11は16:00迄

インテックス大阪

主催

一般社団法人 日本溶接協会
産報出版株式会社



わが国最大の溶接・接合,切断技術専門展示会 —常に新技術を求めて半世紀—

1969年の第1回から数えて今回が26回目。隔年で東京、大阪と交互に開催して51年の歴史を有するところとなりましたが、この間、本ショーはそれぞれの時代背景をテーマに技術革新を促し、一貫して産業界の要請に応える先導的役割を果たしてまいりました。

また、本ショーは、溶接、切断からレーザー加工、マイクロ接合、粉体加工、溶射、表面改質、非破壊検査あるいは話題の金属3Dプリンター・CFRP加工技術、IoT、AIに至る広範な分野に及び、溶接に関連したあらゆる技術、製品、情報が集中的に展開される一大イベントとなっています。

さらに、本ショーは、世界屈指の国際溶接・接合,切断展示会としての評価を得ており、世界の著名メーカーが揃って出品し、世界をリードする最先端技術が一堂に展開されることから、アジア各地からの抜群の集客力と相まって、溶接に関するアジアにおけるハブ展示会としての地位を確立しております。新製品がいち早く発表されること、ふんだんに実演が行われることが大きな特徴であると同時に、このショーの入場者の過半数近くがエンドユーザーの技術者であるというのも本ショーの特筆されるべきポイントの一つです。ゆえに本ショーは技術者層を中心に圧倒的な観客動員を誇り、技術ショーとして国際的にも際立った評価を得ています。

開催要領

- 名 称 2020国際ウェルディングショー
JAPAN INTERNATIONAL WELDING SHOW 2020
- 会 期 2020年4月8日(水)～11日(土) [4日間]
- 開催時間 10:00～17:00 *最終日4/11は16:00迄
- 会 場 インテックス大阪
大阪市住之江区南港北1丁目5-102
- 主 催 一般社団法人 日本溶接協会
産報出版株式会社
- 協賛団体 (一社)溶接学会、(一社)軽金属溶接協会、(一社)日本溶接材料工業会、(一社)日本高圧力技術協会、(一財)日本溶接技術センター、(一社)全国高圧ガス溶材組合連合会、(一社)日本溶射学会、日本溶射工業会、(公社)石油学会、ステンレス協会、(一社)日本チタン協会、全国基礎工業協同組合連合会、(一社)スチッド協会、(一社)日本ロボット工業会、(一社)日本鉄鋼協会、(公社)日本船舶海洋工学会、(一社)日本機械学会、(一社)日本電機工業会、(一社)日本建築学会、(公社)土木学会、(一財)日本海事協会、(一財)発電設備技術検査協会、(一財)光産業技術振興協会、(一社)レーザー学会、レーザー協会、(一社)スマートプロセス学会、(一財)近畿高エネルギー加工技術研究所、(一社)日本鋼構造協会、(一社)鉄骨建設協会、(一社)全国鋼構工業協会、(一社)日本建築構造技術者協会、全国厚板シャリング工業組合、アルミニウム建築構造協議会、(公社)日本鉄筋継手協会、全国圧接業協同組合連合会、(一社)日本橋梁建設協会、(一社)日本非破壊検査協会、(一社)日本非破壊検査工業会、(一社)日本検査機器工業会、(一財)

- テ マ 溶接・接合,切断のチカラ
一匠の技とデジタル技術の融合—
- 入 場 料 1,500円 (団体・学生500円)
- 催行事 技能伝承プラザ
(ものづくりを支える技能伝承をテーマに実演、展示で立体的に展開される特別行事)
- 5大フォーラム (展示会と講演会で構成)
- レーザー加工フォーラム FLMP 2020
FORUM on LASER MATERIAL PROCESSING 2020
- スマートプロセスフォーラム FSPM 2020
FORUM on SMART PROCESSING and MATERIAL 2020
金属3Dプリンター・CFRP加工技術 他
- 鉄骨加工フォーラム FFSS 2020
FORUM on FABRICATION of STEEL STRUCTURES 2020
- 非破壊検査フォーラム FNDI 2020
FORUM on NON-DESTRUCTIVE INSPECTION 2020
- コーティングフォーラム FCMP 2020
FORUM on COATING MATERIAL PROCESSING 2020
- トレンドセミナー (出展社プレゼンテーション)
- テーマ別ソリューションミニセミナー
- 関連行事 溶接学会春季全国大会
溶接連合講演会
アジア溶接連盟 (AWF)行事

出展対象

アーク溶接関係:マグ溶接機、ミグ溶接機、ティグ溶接機、プラズマ溶接機、セルファシールド溶接機、サブマージ溶接機、エレクトロガス溶接機、交流アーク溶接機、直流アーク溶接機、エンジン溶接機、バッテリー溶接機、パイプ溶接機、ガウジング機、溶接ホルダー、アーク溶接用電極材料、アーク溶接用センサー、制御機器、アーク溶接ロボット、アーク溶接自動化機器、アーク溶接システム、アーク溶接品質管理機器、アーク溶接材料、被覆アーク溶接棒、ソリッドワイヤ、フラックス入りワイヤ、スリット付着防止剤、エンドタブ、裏当て材、その他

抵抗溶接関係:スポット溶接機、ポータブルスポット溶接機、シーム溶接機、プロジェクション溶接機、フラッシュ溶接機、バット溶接機、抵抗溶接用ガン、抵抗溶接用電極材料、抵抗溶接用制御機器、品質管理機器、抵抗溶接ロボット、抵抗溶接自動化機器・システム、その他

その他溶接関係:電子ビーム溶接機、エレクトロslag溶接機、スタッド溶接機、材料、ガス溶接機、材料、摩擦溶接機、FSW(摩擦撹拌溶接)、FSF(摩擦撹拌フォーミング)、超音波溶接機、ガス圧接機、モールディング、接合・ボンディング、その他

レーザー加工関係:ファイバーレーザー加工機、炭酸ガスレーザー加工機、YAGレーザー加工機、E

キマレーザー加工機、ディスクレーザー加工機、その他レーザー加工機、レーザー加工機用各種部品、レーザー加工用高圧ガス、アプリケーション、全量3Dプリンター、その他

マイクロ加工関係:ろう付(各種ろう付、ろう付、ろう付、ろう付)、ろう付ロボット、ろう付材料、ほか、はんだ付(自動はんだ付、赤外線はんだ付、はんだ付、ウエーブはんだ付、気相はんだ付等装置、はんだ付ロボット、はんだ付材料、ほか)、マイクロドリリング(リフロー装置、各種実装技術、ロボット、はんだ付材料、鉛フリー関連製品、ほか)、マイクロアーク、マイクロティグ、マイクロ高周波溶接、マイクロ抵抗溶接、マイクロレーザー、レーザーマーカー、ヒューズ、マイクロ超音波、マイクロFSW、熱圧着、ワイヤボンディング、各種制御装置、検査装置、その他

鉄骨加工関係:建築鉄骨加工用資材、機械切断機、開先加工機、穴明け加工機、シャリングマシン、反転機、仮組治具、ガウジング機、バリ取り機、溶接・溶断機器、溶接ロボット、シットプラスト、鉄骨CAD/CAM、非破壊検査装置、バース温度測定機材、その他

非破壊検査関係:放射線透過試験装置、超音波探傷装置、フェーズドアレイ探傷装置、超音波厚さ計、AE装置、浸透探傷装置、磁気探傷装置、渦流探傷装置、VT装置、ひずみ計測装置、工業用X線フィルム、増感紙、自動検出機、材料試験機、非破壊評価機器、硬度測定機等計測機器、材料・検査システム、画像処理装置、損傷劣化予測システム、新材料・複合材料の探傷・評価測定機、検査サービス、その他

表面改質関係:溶射機、材料、粉体肉溶接機、材料、肉溶接機、材料、レーザーボンディング、ホットプレス、その他

熱処理関係:熱処理機器全線、PWHT装置、局部焼鈍ヒーター、加熱装置、高周波装置、その他

熱切断関係:ガス切断機、プラズマ切断機、NC切筋機、レーザー切断機、アトレーザー、ネスティンク、簡易自動化機器、自動化システム、コンピュータソフト、その他

機械加工関係:機械切断機、開先加工機、ボンディングロール、ハンダー、その他

治具・省力化機器関係:ボジョナー、ターンコントロール、マニピュレーター、各種治具、吊りビーム、パランサー、その他

安全・衛生・環境関係:溶接面、遮光カーテン、作業服、安全靴、その他安全保護具、防じんマスク、日焼け止めクリーム、ヒューム集塵機、その他衛生器具、環境測定機器、その他

溶接補助剤・スリット付着防止剤、エンドタブ、裏当て材、その他

工場設備関係:送風機、集塵機、プラストマシン、コンプレッサー、洗浄機、バキュームクリーナー、ホイス、その他工場設備機器、その他

高圧ガス関係:各種高圧ガス、高圧ガス容器、容器用バルブ、圧力調整器、流量計、混合器、乾式安全器、逆火防止装置、ボンベ搬送器具、ボンベスタンド、その他

流通関係:材料商社向けコンピュータシステムパッケージ、容器管理システム、配送管理機材、IT関連、軍需品、その他

工具関係:各種ゲージ、温度チャック、研削研磨器具、研削砥石、電動・エアードライ工具、クランプ、面合わせ器具、芯出し器具、その他

コンピュータ関係:CAD、CAM、CIM、シミュレーション、バーチャルファクトリー関連製品、教育訓練システム、その他

図書・ソフト、教育用機材関係:書籍、雑誌、新聞、教育用OHP、教育用ビデオ、教育用コンピュータソフト、CD-ROM、その他

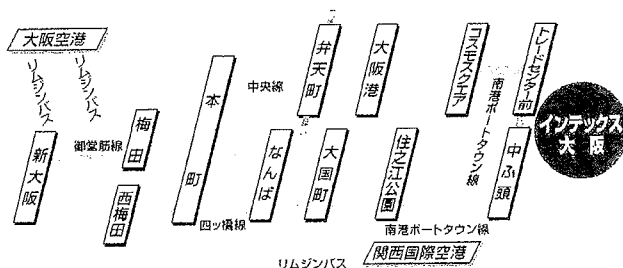


WELDING JOINS THE WORLD
IN FRIENDSHIP

開催までのスケジュール (予定)

2019年 9月20日(金)	12月上旬	2020年 2月中旬～ 3月下旬	4月5日(日)～ 4月7日(火)	4月8日(水)～ 4月11日(土)	4月11日(土)	7月下旬
出展申込締切 *早期申込締切は 6月16日(金)まで *満小間になり次第 締切	出展社説明会 *会場小間図面・ 出展に関する規定 (「出展社の提出 書類」などの発表	申請書類の 提出期限 *電気・ガス・小間 装飾など	搬入・装飾施工	会期 10:00～17:00 *最終日4/11は 16:00迄	会期最終日 終了後、撤去 撤出作業開始	結果報告書 送付

会場への交通アクセス



交通のご案内

●鉄道で(新大阪から)

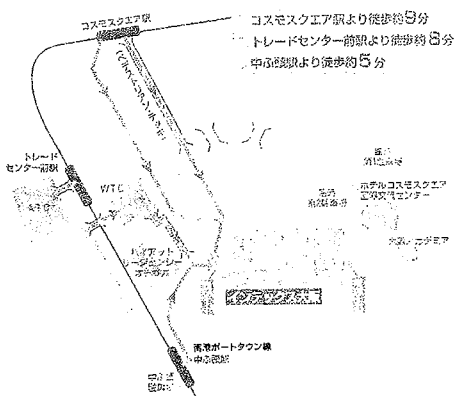
- ①地下鉄御堂筋線→「本町」(乗換)地下鉄中央線→「コスモスクエア」
(乗換)南港ポートタウン線→「中ふ頭」所要時間約45分
- ②JR→「弁天町」(乗換)地下鉄中央線→「コスモスクエア」(乗換)→
南港ポートタウン線→「中ふ頭」所要時間約40分

●大阪空港から

(空港から)リムジンバス→「難波」(乗換)地下鉄四ツ橋線→
「住之江公園」(乗換)南港ポートタウン線→「中ふ頭」所要時間約70分

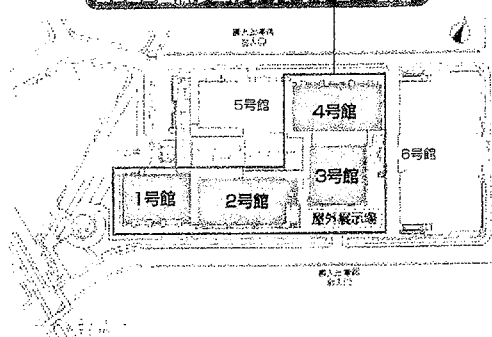
●関西国際空港から

(空港から)リムジンバス→「ハイアットリージェンシーオーサカ」
所要時間約50分



会場：インテックス大阪

2020国際ウェルディングショー 会場 (予定)



お申し込み・お問い合わせ先

2020 国際ウェルディングショー 事務局
産報出版株式会社

本 社 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-11(産報佐久間ビル) TEL.03-3258-6411 FAX.03-3258-6430
関西支社 〒556-0016 大阪市浪速区元町2-8-9(難波ビル) TEL.06-6633-0720 FAX.06-6633-0840
<https://www.sanpo-pub.co.jp/> E-mail:weldingshow@sanpo-pub.co.jp

報 告 事 項

2020 年 月 日
(一社)全国鐵構工業協会

『働き方改革』実施に向けた全構協の統一目標

<全構協の統一目標（取組み）>

- 「一般社団法人 全国建設業協会」様、「一般社団法人 日本建設業連合会」様が
発表している取組みに合わせ、全構協の統一目標として

『現場作業については、第一段階として4週6休とする。
(原則として第2、第4土曜日の現場作業を休みとする。)]』

- 上記内容を、取引先に周知するとともに、取引先と連携して、『働き方改革』の
実施、健全な労働環境の確保に向けた活動を推進する。

<取組み実施内容>

- 1)『働き方改革』関連法令適用に伴い、2020年4月1日から活動を開始する。
- 2) 活動においては、対象現場の条件は特定せず、全現場を対象とする。
- 3) 実際の適用については、各社が個別に取引先（ゼネコン殿等）と協議・相談を
しながら、相互理解に基づき実施して行く。

以上

2020年1月17日

台風15号、19号等 被災構成員への見舞金支払いについて1) 被災影響度整理(指数)

- ・被災状況(損害、停止期間等)については、各支部からの被災報告情報に基づき整理。
- ・昨年の西日本豪雨時の整理内容(生産停止期間等を評価)を参考として、被災影響度を、識別・指数化。
- ・指数 = <被災企業数> × <指数(被害有:2点、被害大:5点)> により、算出

支部	都道府県	被災企業有無	被災企業数 (支部) (社)	(被災状況整理)			(被災影響度・指数)				(支部)	
				浸水等 (操業 影響無 /短期)	設備 影響 停止有 (復旧済) 11-20 日	設備 影響 停止有 (長期/ 未復旧) 21日 以上	(点)	被害小 (0点) (社)	被害有 (2点) (社)	被害大 (5点) (社)		
東北	岩手	有	3	15	3							48点
	宮城	有	3			1	2	12点		1	2	
	福島	有	9			3	6	36点		3	6	
関東	栃木	有	2	113	1		1	5点			1	25点
	埼玉	有	5		4		1	5点			1	
	千葉	有	84		80	4		8点		4		
	東京	有	1			1	2点		1			
	神奈川	有	13		13							
	長野	有	8		7		1	5点			1	
中部	静岡	有	7	7	7							
		10	135	135	115	9	11	73点	0	9	11	73点

2) 被災支援(災害見舞金)対応

- ・過去の災害対応内容を総合的に勘案し、今回の対応規模(支援額)を判断。⇒ 今回、600万とする。
- ・支援総額(600万円)を、上記1)で算出した指数を使用して配分。

支部	都道府県	被災企業有無	被災企業数 (支部) (社)	(被災状況整理)			(万円)	(災害見舞金)			(支部)
				(操業 影響無 /短期)	停止有 (復旧済) 11-20 日	停止有 (長期/ 未復旧) 21日 以上		被害小 (社)	被害有 (社)	被害大 (社)	
東北	岩手	有	3	3			0				395万円
	宮城	有	3		1	2	99				
	福島	有	9		3	6	296				
関東	栃木	有	2	1		1	41				205万円
	埼玉	有	5	4		1	41				
	千葉	有	84	80	4		66				
	東京	有	1		1		16				
	神奈川	有	13	13			0				
	長野	有	8	7		1	41				
中部	静岡	有	7	7			0				
		10	135	135	115	9	11	600			600万円

3) 災害見舞金の実施

- ◎被害の大きい東北、関東の両支部に対して、災害見舞金を実施する。
- ◎支部内での具体的な災害見舞金の配分については、各支部の判断で実施(配分)する。

〈 2019 年度 〉

第 2 回 技術委員会 議事録（案）

1. 日 時 2019年12月2日（月）14:00～17:00
2. 場 所 全構協 第1会議室
3. 出席者 神崎委員長、齋藤、稲垣両副委員長
安田、栗原、平田、上柿、益田、渡部、岩永 各委員
（事務局）辰巳専務理事、大橋常務理事、技術部 高野、中村

4. 議事次第

資料No.

- 1) 委員長挨拶
- 2) 前回議事録の確認
 - ・ 前回（10/17）議事録
- 3) 見積条件書の作成について（見積WG）
 - ・ 「見積条件書」（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ No. 1
 - 【委員からのご意見】
 - ① 「御見積り一般条件」の文章表現、重複、体裁など
 - ② 入力防止案
 - ③ 働き方改革を実行するための条件追加
 - ④ 見積り有効期限の追加
 - ⑤ エクセルで提出を求められた場合の使用方法
- 4) CAD担当者の業務負担軽減策について（図面WG）
 - ・ 「工程管理表」（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ No. 2
 - 【委員からのご意見】
 - ① 「進捗状況」欄の自動表示方式の可否
 - ② 「主なチェック項目」欄を止めて、製作開始後の状況を自由記載する「コメント」欄にする案
 - ③ 「チェック内容」欄を自動表示方式にする案
- 5) 両成果物の周知方法について
 - ・ 「見積条件書」「工程管理表」の周知について・・・・・・・・・・ No. 3
- 6) その他
 - ① 次回開催について

5. 議事要旨

- 1) 委員長挨拶
神崎委員長より、次の挨拶があった。
「見積WG、図面WGで検討している各々のテーマについて、本日の委員会にて、ほぼ最終案とし、周知方法についても検討したい。ご協力をお願いしたい。」

2) 見積条件書の作成について（見積WG）（資料No.1）

前回WG案に対する意見に基づき検討した結果、次の通りとなった。

①「御見積り一般条件」の文章表現、報復、体裁等について

- ・「てにをは」など、指摘の表現に修正する。
- ・行間を拡大し、2行文章になっても表示されるようにする。

②入力防止案

- ・行単位で交互に色づけして見やすくする。

③働き方改革を実行するための条件追加

- ・見積条件書に「働き方改革への対応」項目を追加し、「第二・第四土曜の休日」を明記する。

④見積有効期限の追加

- ・本紙に記載の見積有効期限を厳守する旨の記述を追加する。

⑤エクセルでの提出を求められた場合の使用方法

- ・PDFにしてから、エクセルに張り付けることで対応する。

なお、本件の操作マニュアルを上柿委員が作成し、齋藤GL確認の上、次回委員会に提出することになった。

3) CAD担当者の業務負担軽減策について（図面WG）（資料No.2）

前回WG案に対する意見に基づき検討した結果、次の通りとなった。

①「進捗状況」欄の自動表示方式の可否

- ・原案の自動表示方式を採用するが、上書きして自由に記入することが可能である旨を説明する。

②「主なチェック項目」欄を止めて、製作開始後の状況を自由記入する「コメント」欄にする案

- ・「主なチェック項目」は原案通り記載するが、「コメント」欄（自由記入）を追加することになり、レイアウトは稲垣GLに一任された。

③「チェック内容」欄を自動表示方式にする案

- ・「主なチェック項目」と「チェック内容」欄に記載する事項は、必ずしも一致しないため、リンクは設定せず、自由記入とする。

なお、本件の操作マニュアルを稲垣GLが作成し、次回委員会に提出することになった。

4) 両成果物の周知方法について（資料No.3）

「見積条件書」「工程管理表」の周知方法について検討した結果、次の通りとなり、両成果物と共に答申することになった。

①配布方法

- ・両成果物（操作マニュアルを含む）を収録したCD版を各県に1部送付する。

3 / 3

- ・全構協会専用ホームページに掲載し、常時ダウンロードできるようにする。

②周知方法

- ・支部単位に、各県代表者 1 名を対象に説明会を開催する。
- ・支部単位の説明会講師は所属支部の全構協技術委員が担当する。
- ・各県代表者 1 名は、県内の説明会講師や周知活動を担っていただく。
- ・説明会では、「見積条件書」「工程管理表」の他に「仮設金物原価算出シート」も行う。(所要時間 60 分程度)

③周知スケジュール

- ・3月上旬：成果物（CD版）を各県組合に配布
- ・3～4月：支部単位に各県代表者への説明会を実施
- ・5月以降：各県単位の説明会を実施（任意）
- ・〃；全構協会専用ホームページに掲載（一般ホームページには紹介のみ）

④費用補助

- ・支部単位の説明会開催支援（会場費等） 一律 5 万円（9 支部＝45 万円）
- ・県単位の説明会開催支援（会場費・講師料等） 一律 5 万円（47 県＝235 万円）
(合計＝ 280 万円)

5) その他

①次回開催について

次回委員会は 2020 年 2 月 21 日（金）開催予定とした。

以上

2019.11.28

「就職氷河期世代 定職ニーズ調査」 集計

	回答社数	構成員数	回答率(%)	問2「有」 回答社数	問4「有」 回答社数
北海道	21	73	28.8	12	15
青森	6	37	16.2	6	3
岩手	11	30	36.7	10	8
宮城	12	40	30.0	6	3
秋田	13	24	54.2	12	7
山形	17	26	65.4	14	10
福島	19	61	31.1	19	12
茨城	0	60	0.0	0	0
栃木		52	0.0		
群馬	18	65	27.7	18	11
埼玉		53	0.0		
千葉	12	55	21.8	9	8
東京		49	0.0		
神奈川	25	41	61.0	21	17
新潟	25	91	27.5	39	27
山梨		31	0.0		
長野	20	66	30.3	19	15
富山	13	39	33.3	13	11
石川	10	32	31.3	10	4
福井	7	40	17.5	7	4
岐阜	19	71	26.8	16	7
静岡	11	96	11.5	9	8
愛知	34	140	24.3	30	18
三重	21	62	33.9	16	10
滋賀	6	32	18.8	5	2
京都	8	48	16.7	5	4
大阪	32	118	27.1	29	23
兵庫	28	74	37.8	24	15
奈良	8	39	20.5	4	4
和歌山	10	38	26.3	9	8
鳥取	8	14	57.1	8	8
島根	14	23	60.9	10	8
岡山	11	35	31.4	11	8
広島	21	75	28.0	19	13
山口	13	41	31.7	12	7
徳島		25	0.0		
香川	7	46	15.2	7	4
愛媛	12	40	30.0	9	6
高知		23	0.0		
福岡	45	54	83.3	41	31
佐賀		24	0.0		
長崎		19	0.0		
熊本	15	24	62.5	12	12
大分	23	20	115.0	16	13
宮崎	16	23	69.6	13	13
鹿児島	13	31	41.9	11	7
沖縄		13	0.0		
合計	604	2,213	27.3	531	384

(a) (b) (a/b) (c) (d)
 問2：35～50才の雇用ニーズの有無 回答社数の割合 88% 64%
 問4：非正規社員(主婦含む)の有無 (c/a) (d/a)

2020.1.17

建築鉄骨(製品・超音波)検査技術者の手数料改定

(参考)

	会員 区分 ※2	建築鉄骨製品検査技術者		建築鉄骨超音波検査技術者	
		2019年度	2020年度	2019年度	2020年度
新規	学科試験	10,000	10,000	10,000	10,000
	実技試験	25,000	28,000	25,000	28,000
	実技講習 (任意) ※1	40,000	52,000	60,000	78,000
継続 (5年目)	講習	20,000	26,000	30,000	39,000
	講習	5,000	5,000	5,000	5,000
更新 (10年目)	更新試験	12,000	15,000	12,000	15,000
	更新講習 (任意) ※1	20,000	26,000	20,000	26,000
	更新講習 (任意) ※1	10,000	13,000	10,000	13,000
登録	新規	10,000	10,000	10,000	10,000
	継続	5,000	5,000	5,000	5,000
	更新	10,000	10,000	10,000	10,000

(消費税別;円)

※1 任意講習の手数料は全構協・鉄建協が決定。それ以外の手数料は(一社)鉄骨技術者教育センターが決定。

※2 会員は全国鉄骨工業協会及び鉄骨建設業協会の所属会社に勤務している方。一般は会員以外の方。

そ の 他 の 事 項

構成員登録・取消社数累計表

登録・取消承認日	全構協受付締切日	登録社数	取消社数	合計社数
平成31年3月31日現在 (平成30年度増減数)		34	27	2,208
令和元年5月21日 第1回理事会	3月31日	(0)	(8)	2,208
令和元年6月7日 第2回理事会	5月31日	6	2	2,212
令和元年6月7日 第3回理事会	—	—	—	—
令和元年7月11日 第4回理事会	7月5日	5	5	2,212
令和元年9月19日 第5回理事会	9月10日	4	3	2,213
令和元年11月21日 第6回理事会	11月13日	4	2	2,215
令和2年1月17日 第7回理事会	1月10日	4	3	2,216
累 計		23	15	2,216

《グレード別内訳》

S : 5

H : 258

M : 833

R : 601

J : 51

未 : 468

合計 : 2,216

登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

令和2年1月10日現在

区分	登録・取消 承認	増 減								増減差	増 減 後 構 成 員 数
		登録 社数	取消社数								
			倒 産	転・廃業	縮 小	工場閉鎖	休 業	その他	合 計		
平成11年度合計		46	63	76	32	18	4	86	279	-233	3,726
平成12年度合計		22	48	52	31	11	5	83	230	-208	3,518
平成13年度合計		22	48	59	37	10	8	117	279	-257	3,261
平成14年度合計		40	67	37	45	21	4	110	284	-244	3,017
平成15年度合計		33	38	28	38	4	9	84	201	-168	2,849
平成16年度合計		65	13	22	18	2	1	45	101	-36	2,813
平成17年度合計		35	15	16	14	2	3	28	78	-43	2,770
平成18年度合計		49	8	15	19	6	3	29	80	-31	2,739
平成19年度合計		51	13	19	20	6	1	20	79	-28	2,711
平成20年度合計		49	17	17	29	0	4	41	108	-59	2,652
平成21年度合計		37	11	47	34	3	6	50	151	-114	2,538
平成22年度合計		23	31	39	33	4	7	52	166	-143	2,395
平成23年度合計		14	13	45	20	3	3	65	149	-135	2,260
平成24年度合計		20	9	15	19	2	0	35	80	-60	2,200
平成25年度合計		13	5	5	13	2	2	15	42	-29	2,171
平成26年度合計		26	2	6	10	0	0	21	39	-13	2,158
平成27年度合計		36	0	5	9	0	0	11	25	11	2,169
平成28年度合計		36	1	6	9	1	0	16	33	3	2,172
平成29年度合計		56	0	9	7	0	0	11	27	29	2,201
平成30年度合計		34	2	5	6	0	1	13	27	7	2,208
令和 元 年 度	第 2 回 (5月31日)	6	0	1	0	0	0	1	2	4	2,212
	第 3 回 (月 日)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	第 4 回 (7月5日)	5	0	1	2	0	0	2	5	0	2,212
	第 5 回 (9月10日)	4	0	0	1	0	0	2	3	1	2,213
	第 6 回 (11月13日)	4	0	1	1	0	0	0	2	2	2,215
	第 7 回 (1月10日)	4	0	1	1	0	0	1	3	1	2,216
	第 8 回 (月 日)										
	第 9 回 (月 日)										
	年度末処理										
	元年度計		23	0	4	5	0	0	6	15	8
累 計		1,002	499	655	520	124	79	1,130	3,007	-2,005	2,216

1. 転・廃業内訳	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	転業 3社	転業 0社	転業 0社	転業 1社	転業 0社
	廃業 2社	廃業 6社	廃業 9社	廃業 4社	廃業 4社

2. グレード別取消内訳	S	H	M	R	J	未	合計
平成27年度	1	1	3	6	0	14	25
平成28年度	0	2	1	8	0	22	33
平成29年度	0	1	4	4	1	17	27
平成30年度	0	1	2	11	0	13	27
令和元年度	0	0	1	10	0	4	15

構成員登録社数・増減一覽表

(元. 11. 14~2. 1. 10)

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
北海道	北海道	73			0	73
	青森	37			0	37
	岩手	30			0	30
	宮城	40	1		1	41
	秋田	24			0	24
	山形	26			0	26
	福島	61			0	61
関東	茨城	60	1		1	61
	栃木	52			0	52
	群馬	65			0	65
	埼玉	53			0	53
	千葉	55			0	55
	東京	49			0	49
	神奈川	41		1	-1	40
北陸	新潟	91			0	91
	山梨	31			0	31
	長野	66			0	66
	富山	39			0	39
	石川	32			0	32
	福井	40			0	40
	岐阜	72			0	72
中部	静岡	96			0	96
	愛知	140			0	140
	三重	62			0	62
	北海道	73			0	73
	青森	37			0	37
	岩手	30			0	30
	宮城	40	1		1	41
近畿	滋賀	32			0	32
	京都	49		1	-1	48
	大阪	118			0	118
	兵庫	74	1		1	75
	奈良	39			0	39
	和歌山	38			0	38
	鳥取	14			0	14
中国	島根	23			0	23
	岡山	35			0	35
	広島	75			0	75
	山口	42			0	42
	徳島	25			0	25
	香川	45			0	45
	愛媛	40			0	40
四国	高知	23			0	23
	福岡	54		1	-1	53
	佐賀	24			0	24
	長崎	19			0	19
	熊本	23			0	23
	大分	20			0	20
	宮崎	24			0	24
九州	鹿児島	31			0	31
	沖縄	13	1		1	14
合 計		2215	4	3	1	2216

構成員登録申請企業一覽表

令和2年1月10日現在
令和2年1月17日決定

[illegible]

構成員登録取消企業一覽表

令和2年1月10日現在
令和2年1月17日決定

3社)

[illegible]

建築着工面積と鉄骨推定所要量推移

(国土交通省建築着工統計速報による)

2020年1月7日作成

年度	月	全建築物		鉄骨造		鉄骨鉄筋造		鉄骨推定重量計	
		面積	前年同期比	面積	前年同期比	面積	前年同期比	トン数	前年同期比
平成11年度計		197,017	101.9	68,108	97.5	17,361	110.0	7,678,750	98.8
平成12年度計		194,481	98.7	70,808	104.0	15,305	88.2	7,846,050	102.2
平成13年度計		178,903	91.9	63,529	89.7	13,056	85.3	7,006,500	89.2
平成14年度計		171,031	95.6	61,468	96.8	10,958	83.9	6,694,700	95.5
平成15年度計		176,531	103.2	64,378	104.7	9,402	85.8	6,907,900	103.2
平成16年度計		182,774	103.5	69,927	108.6	6,834	72.7	7,334,400	106.2
平成17年度計		185,648	101.6	69,338	99.2	5,468	80.0	7,207,200	98.3
平成18年度計		187,611	101.1	70,187	101.2	6,317	115.5	7,334,550	101.8
平成19年度計		157,219	83.8	61,466	87.6	5,443	86.2	6,418,750	87.5
平成20年度計		151,394	96.3	56,639	92.1	4,604	84.6	5,894,100	91.8
平成21年度計		113,196	74.8	37,589	66.4	2,937	63.8	3,905,750	66.3
平成22年度計		122,281	108.0	40,478	107.7	2,731	93.0	4,184,350	107.1
平成23年度計		127,294	104.1	41,792	103.2	2,610	95.6	4,309,700	103.0
平成24年度計		135,452	106.4	46,257	110.7	2,677	102.6	4,759,550	110.4
平成25年度計		148,461	109.6	52,350	113.2	3,466	129.5	5,408,300	113.6
平成26年度計		130,791	88.1	48,554	92.7	3,019	87.1	5,006,350	92.6
平成27年度計		129,605	99.1	48,304	99.5	2,909	96.4	4,975,850	99.4
平成28年度計		134,236	103.6	49,957	103.4	2,171	74.6	5,104,250	102.6
平成29年度計		133,028	99.1	50,701	101.5	2,788	128.4	5,209,500	102.1
2018年度	4月	11,733	98.8	4,323	99.3	133	68.6	438,950	98.7
	5月	10,912	97.3	4,275	98.1	164	93.2	435,700	98.0
	6月	11,350	91.9	4,712	98.3	36	19.1	473,000	96.7
	7月	11,869	102.6	4,724	108.8	260	120.4	485,400	109.1
	8月	10,906	95.1	4,385	95.4	30	15.3	440,000	93.8
	9月	11,160	95.8	4,253	96.5	118	67.0	431,200	95.9
	10月	11,604	100.0	4,402	107.3	199	80.9	450,150	106.5
	11月	11,194	96.6	4,122	91.1	82	31.8	416,300	89.4
	12月	10,878	107.2	3,926	107.5	153	120.5	400,250	107.7
	1月	9,717	102.6	3,779	95.4	64	54.2	381,100	94.8
	2月	9,789	97.1	3,762	101.8	133	19.5	382,850	94.9
	3月	9,966	99.8	3,385	86.4	92	43.4	343,100	85.3
	年度計	131,078	98.5	50,048	98.7	1,464	52.5	5,078,000	97.5
2019年度	4月	11,222	95.6	3,919	90.7	200	150.4	401,900	91.6
	5月	10,552	96.7	3,761	88.0	147	89.6	383,450	88.0
	6月	11,812	104.1	4,283	90.9	75	208.3	432,050	91.3
	7月	11,974	100.9	4,756	100.7	131	50.4	482,150	99.3
	8月	11,167	102.4	4,211	96.0	50	166.7	423,600	96.3
	9月	10,316	92.4	3,483	81.9	152	128.8	355,900	82.5
	10月	10,615	91.5	3,679	83.6	110	55.3	373,400	83.0
	11月	10,067	89.9	3,510	85.2	93	113.4	355,650	85.4
	12月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	2月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	3月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	年度計	87,725	96.7	31,602	89.8	958	93.7	3,208,100	89.8

(単位) 面積 1,000㎡
前年同期比 %(注) 鉄骨推定所要量
鉄骨造 ㎡×100kg
鉄骨鉄筋造 ㎡×50kg

2019(令和元)年度 主要会議日程表

2019.12.5 現在

□ ↓ 夏期・年末年始休日
 ■ ↓ 土日・祝日
 ◇ ↓ 振替休日
 ◇ ↓ 休日出勤

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
5	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
6	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
7	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
8	28	29	30	31									
9	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
10	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
11	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
12	26	27	28	29	30	31							
13	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
14	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
15	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
16	24	25	26	27	28	29	30	31					
17	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
18	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
19	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
20	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
21	29	30	31										
22	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
23	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
24	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
25	27	28	29	30	31								
26	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
27	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
28	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
29	25	26	27	28	29	30	31						
30													
31													

開催年月日	時間	三役会	理事会	総会	全国理研基金 事務局長会議	委員会	その他	備考
2019年 (令和元年)								
4月5日 金	12:00 ~ 18:00	12:00			15:00 ※		16:30 懇親会	※事務局長会議
5月10日 金	14:00 ~ 17:00	14:00					17:30 懇親会	※総会招集決議
5月21日 火	10:30 ~ 19:00	10:30	14:00 ※			9:30 特別		12:00-14:00 全統評取締役会
5月22日 水	9:30 ~ 12:00						17:00 懇親会	14:00 全統評株主総会
6月7日 金	9:30 ~ 18:30	9:30	11:30	15:00			14:00 青年部会幹部との懇談	
7月3日 水	12:00 ~ 17:00	12:00				9:30 特別	17:30 懇親会	
7月11日 木	10:30 ~ 19:00	10:30	14:00					
7月12日 金	9:30 ~ 12:00	14:00					11:30 技・審議会	
8月29日 木	11:30 ~ 14:00							
9月10日 火	14:00 ~ 17:00	14:00						
9月19日 木	10:00 ~ 19:00	10:00	12:00				15:00 賛助会員との意見交換会	16:30 賛助会員との懇談会
9月20日 金	9:30 ~ 12:00					9:30 特別	13:30 各県青年部代表者との意見交換会	16:00 名譽青年部代表者との懇談会
10月16日 水	14:30 ~ 17:00	14:30				14:00 特別※	18:00 懇親会	12:00-14:00 全統評取締役会
11月13日 水	11:00 ~ 17:00	11:00	15:00					※教育人材育成委員会のみ
11月21日 木	13:00 ~ 19:30	13:00				9:30 特別※		大阪開催 ※企画委員会のみ
11月22日 金	9:30 ~ 12:00							12:00-14:00 全統評取締役会
12月12日 木	12:00 ~ 14:00							
12月13日 金	14:00 ~ 19:30	14:00					18:00 事務局職員との懇談会	
2020年 (令和2年)								
1月17日 金	9:30 ~ 18:00	9:30	12:00		15:00 ※		16:30 賛助会	※全国理事長会
2月4日 火	12:00 ~ 17:00	12:00				15:30	15:30 技研研発奨励基金選考会議	
2月13日 木	10:30 ~ 19:00	10:30	14:00			9:30 特別	17:30 懇親会	
2月14日 金	9:30 ~ 12:00							
3月10日 火	14:30 ~ 17:00	14:30					12:00-14:00 全統評取締役会	
3月18日 水	10:30 ~ 19:00	10:30	14:00					
3月19日 木	9:30 ~ 12:00					9:30 特別	17:30 懇親会	

開催団体	開催年月日	時間	内容
【青年部会】	2020年4月10日(金)	三役会(12:00)	2020(令和2)年度予定
総会・全国大会	2020年5月19日(火)	三役会(14:00)	三役会(12:00) 全国事務局長会議(15:00) 懇親会(16:30)
	2020年5月28日(木)	三役会(10:30)	三役会(10:30) 理事会(14:00)
	2020年6月17日(水)	三役会(9:00)	三役会(9:00) 総会(11:30) 懇親会(15:00) 懇親会(17:00)
			参考：全統評株主総会(14:00)

< 北海道支部 > 状 況 報 告 書

2019年(令和元年) 11月分

提出日 令和元年12月12日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	11日(月) 三役会・役員会 19日(火) 例会 29日(金) 忘年会	12月10日(火) 働き方改革セミナー 開催予定 第6回役員会 開催予定
函館		
室苦小樽		
旭川	11日(月) 営業担当者会議	
北見	19日(火) 月例委員会 22日(金) 支部忘年会	
帯広		
釧路	25日(月) 例会	

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
支部	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	3 ~ 9	2 ~ 5	1 ~ 3	90 ~ 110		○		77~250	76~178	86~190
函館	1	2 ~ 3	2 ~ 3	50 ~ 90			○	110~180	120~200	-
室苦小樽	5 ~ 12	2 ~ 6	2 ~ 3	80 ~ 120		○		120~190	120~180	-
旭川	12	2 ~ 5		90			○	100~150	100~150	-
北見		2 ~ 5		100 ~ 110		○		170~180	160~170	-
帯広	6	1 ~ 6	1 ~ 2	75 ~ 100			○	75~155	90~160	-
釧路	7	1 ~ 3		70 ~ 110			○	120~180	140~230	-

(C)

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・H・Mグレードは山積みが高いが、R・未認定は低い。当面、工場の稼働率は高いが、足元の引き合いは少ない。施工図の未確定などで、山積み調整に苦慮している。 ・共同積算:1~11月 99,638t 平年比82% 前年比85%
函館	・稼働率は会員によっては落ち着いてきているところもあり、見積り量は変わらず少ない。価格については大きく変わりなし。
室苦小樽	・一部の工場は来年度まで山積みが高く、その他工場も春先まで埋まりつつある。HTBの納期は改善の方向へ向かっている。
旭川	・一部の工場については、年明け(冬期間)は、仕事が薄い状況。
北見	・来年度の計画が出始めてきており、例年より早く具体化している模様。
帯広	・例年より早く、各社ピークを迎えた様子。新規見積りも少なく、不安視する声が多い。
釧路	・酪農パブルも終わり、施設工事も2020年までの感がある。

< 北海道支部 > 状 況 報 告 書

2019年(令和元年) 12月分

提出日 令和2年1月9日

(A) ①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	2日(月) 三役会・役員会	10日(火) 中小企業向け「働き方改革」セミナー 第6回役員会
函館	26日(木) 支部例会、経営者懇談会	
室苦小樽		
旭川	9日(月) 営業会議	
北見	17日(火) 月例委員会	
帯広		
釧路	4日(水) 忘年会(27名出席)	

(B) ①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
支部	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	3 ~ 9	2 ~ 5	1 ~ 3	90 ~ 110			○	73~250	76~223	86~180
函館	1	2	2	50 ~ 90			○	110~180	120~200	-
室苦小樽	3 ~ 12	2 ~ 6	2 ~ 3	80 ~ 120		○		150~190	140~180	-
旭川	12	1 ~ 5		90			○	90~140	90~140	-
北見		3 ~ 6		100 ~ 110		○		170~180	160~170	-
帯広	6	1 ~ 6	1 ~ 2	50 ~ 100			○	75~155	90~165	-
釧路	7	1 ~ 4		70 ~ 110			○	110~180	140~230	-

(C) ①現状と今後の状況の見通しについて	
支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・H・Mグレードは山積みが高いが、R・未認定は低い。工場の稼働率が高いが、現状の引き合いは少ない。来年のGW明けから夏以降の物件情報が多い。施工図の決定遅れなどで、山積み調整に苦慮している。 ・共同積算:1~12月 111,534t 平年比84% 前年比88%
函館	・各会員、稼働率・山積み共に先月と変わらず低めで推移しており、見積りに関しても管内の案件は少ない。価格については大きく変わりなし。
室苦小樽	・一部工場は、来年度の夏頃から年末まで山積みが高いが、多くの工場は長期に亘って物件は決まっていない。
旭川	・一部に受注単価の下落が見られるので、部会として対策が必要。
北見	・来年度の計画がはじめてきており、例年より早く具体化している模様。
帯広	・年末を迎え、例年になく全体的に落ち着いている。受注価格に大きな変化はない。
釧路	・特殊鋼材高力ボルトの納期がかかると誤認識している設計事務所・建築業者がいることが判明し、PR不足を感じている。今後は広報活動に力を入れていく。

＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2019 年（令和元年）11 月分

(A)

提出日 令和元年 12 月 3 日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○11/21 積算業務担当者会議、「働き方改革」講習会、 青年部幹事会（@青森市） ○11/22 技術・品質サポート（1社）	○11/13 東北鉄構連積算業務委員会 （山口県萩市）
岩手県	○11/6 県南支部会 ○11/19 盛岡支部会、組合広報委員会	
宮城県	○11/15 栗駒・登米支部会 ○11/21 仙南支部会 ○11/22 役員会 ○11/27 営業担当者会議・忘年会	
秋田県	○11/21 役員会・代表者会議 ○11/22 営業担当者会議	
山形県	○11/15 青年部 工場長能力向上研修会 ○11/16 超音波探傷技術研究会 探傷器の定期点検及び超 音波探傷検査規準改正の勉強会 ○11/22 三役会、役員及び新庄・村山支部会員合同会議	
福島県	○11/20 第4回理事会	

(B)

①手持ち工事量（ヵ月）				②稼働率（%）	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率（%）	多い	普通	少ない	S 造 (H+H)	S 造 (コラム H)	SRC 造
青森県	3～12	1～5	1～3	50 ～ 100	○			60～80	60～80	70
岩手県	1～11	2～6	1～3	80 ～ 110			○	50～100	50～100	
宮城県	5～8	2～5	3～	100 ～ 110			○	70～85	70～100	
秋田県	5～5	3～5	2～4	70 ～ 100			○	65～100	65～100	
山形県	3～9	2～8	2～5	80 ～ 120		○		70～110	70～110	
福島県	8～	3～7	1～6	50 ～ 120			○	60～170	55～170	

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	減少傾向であった見積依頼物件数がやや増加し、県内物件の引合いが微増。しかし、図面承認遅れ等の影響で作業工程の調整が難しく、工場稼働率は平均 93%と例月より落ち込んだ。HTB の入手難は若干の工場で改善の方向に向かいつつある状況とのことで今後に期待したい。
岩手県	工場稼働率・手持ち工事量は若干減少傾向。見積物件数は引き続き低迷している。これから春先にかけての仕事を懸念する声が多いが、来年後半頃から仕事が出てくるのではないかと見方もある。HTB 問題に加えて今後の材料費値上がりにも懸念が広がっている。
宮城県	県内見積依頼件数は減少傾向。 来年の 2 月、3 月の山積に苦労しそうである。
秋田県	手持ち工事量、稼働率、価格に大きな変動はないが、物件数が少ない。 今後の仕事量確保が心配される。
山形県	県内見積物件数は、減少傾向である。 物件競争による安値受注にならないよう注意が必要。
福島県	受注予定は春先以降であるが、工期延長、設計未決定、台風 19 号により公的機関が対応できない等の要因の為、直近の製作が出来ない状況が散見されている。今後、働き方改革に伴いやり方を見直し、やがて来る不景気に対処すべく、組合員同士の情報交換や業務提携・技術支援等により仕事量が平準化できる環境を目指す段階ではないかと思う。

<東北支部> 状 況 報 告 書 2019 年（令和元年）12 月分

提出日 令和 2 年 1 月 8 日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○12/18 積算業務担当者会議（忘年会）	○12/4 東北鉄構連積算業務委員会 (仙台市) ○12/5～6 NDI-UT レベル 1 学科講習会 (多賀城市) ○12/11 東北鉄構工業連合会役員会 (盛岡市)
岩手県	○12/6 理事会、賛助会員との懇談会 ○12/11 県南支部会・忘年会 ○12/17 性能評価傾向と対策説明会 ○12/18 青年部忘年会 ○12/19 盛岡支部会・忘年会	
宮城県	○12/14 青年部会・忘年会	
秋田県	○12/13 営業担当者会議	
山形県	○12/10 営業実務者会議 ○12/23 青年部役員会	
福島県	○12/12 第 4 回営業責任者会議 ○12/21 青年部忘年会	

(B)

①手持ち工事量（カ月）				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S 造 (H+H)	S 造 (コラム H)	SRC 造
青森県	4～12	2～10	1～3	20 ～ 100			○	65～80	60～95	
岩手県	1～11	1～6	1～3	80 ～ 110			○	55～100	55～100	
宮城県	4～9	2～5	2～3	80 ～ 110		○		75～100	70～100	
秋田県	5～8	2～5	1～4	40 ～ 120			○	75～80	65～80	100
山形県	3～10	2～9	0～4	80 ～ 120		○		70～110	70～110	
福島県	8～10	2～6	0.5～6	50 ～ 120		○		65～120	55～170	

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	稼働率・手持ち工事量は先月より低調に推移。平均して来夏までの仕事量を確保している工場が多いものの、年明けも工事量が多い月・少ない月バラツキが顕著。ボルト入手難は改善されつつあると回答する工場が微増。価格は依然として低調に推移。
岩手県	工場稼働率・手持ち工事量は若干減少傾向ながら引き続いて高い水準を維持。見積物件数が低迷し続けており、春先への懸念が一層強まっている。HTB 若干納期改善もメッキボルトは依然入手難が続いている。春先へ向けて組合員の横の連携を呼び掛けている。
宮城県	手持ち工事量・稼働率に変化はないが見積依頼件数は減少している。今後は更に厳しくなると思われる。
秋田県	物件数が少ない。特に県内物件の動きが鈍い。価格も相変わらずであり先行き不安である。
山形県	県内見積物件数は相変わらず少なく、県外物件が多く見られる。先行き不安は解消されず厳しい状況である。
福島県	稼働率・手持ち工事量に大きな変化はないが、見積件数は減少傾向。M グレード以下では受注契約残にバラつきが見られるので安値受注に陥らないよう、また、働き方改革や輸送コスト管理等も今後の製作費に大きく影響するので、安易な単価の回答は避けるようにしたい。

< 関東支部 > 状況報告書

2019年(令和元年) 11月分

提出日 令和2年1月7日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	関東支部活動・行事等
東京都	7日PA検査法確立WG(川崎)、8日～9日関東HG商社会合同全員協議会(伊香保)、26日理事会、シヤナル田中前社長偲ぶ会、28日全国M固形タブ合否判定会	・11日 第4回関東支部会 ・13日 関東支部女子職員研修会
千葉県	7日(木)支部長会、青年部・JSCA役員会 22日(金)青年部・JSCA合同会議 29日(金)三役・支部長会、理事会、グレート部会、合同支部会	
神奈川県	2日 固形エンドタブ技能検定、13日 Mグレード部会、16～17日 合同支部会、28日 固形エンドタブ技能検定判定会	
茨城県	9日 第4回鐵構オープン・13日 建築士会現場管理セミナー・30日 NDI受験対策超音波実技講習 初日 レベル1/5名 レベル2/7名・その他 技能実習生監理業務	
埼玉県	5日(火) 総務委員会、労務委員会、働き方改革関連法の研修会、県西支部会 7日(木) PA検査法WG 13日(水) 理事会 14日(木) 県庁オープンデー出展 15日(金) 青年部会役員会	
栃木県	11/2 エンドタブ施工講習会、11/14 定例理事会、11/21青年部役員会 11/27 性能評価審査サポート(1社)	
群馬県	8日 働き方改革講習会・14日 50周年記念事業第1回準備会議・25日 建築鉄骨品質適正化協議会・29日 正副理事長会議、役員会	
長野県	・7日(木)働き方改革講習会・13日(水)運営委員会・20日(水)M会研修会(外人雇用について)・30日(土)UT実技講習会・30日(土)一部三県合同研修会(青年部)	
山梨県	9日 溶接JIS検定 11日 技能講習実施状況監査(労働局) 12日 理事会 25日 大陽日酸山梨事業所(見学勉強会) " 溶接安全委員会 " 教育技術委員会	
新潟県	11/1 第1回青年部会、11/8～9 鉄骨超音波検査技術者 実技講習会 8名 11/15～16 新潟支部 研修旅行 11/27～28、29～30 鉄骨製品検査技術者 実技講習会 25名 11/12、21 審査工場のサポート(2工場)	

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
東京都	12	2～6	2～4	90		○		90～125	100～130	—
千葉県	—	2～6	1.5～4	80～100		○		100～155	100～160	250
神奈川県	7～10	1～8.5	—	50～100		○		70～155	50～140	130～175
茨城県	2～4	4～6	10	80～100		○		70～95	70～90	—
埼玉県	4～11	3～9	1～5	60～100		○		80～210	77～220	—
栃木県	8～12	3～7	2～3	80～100		○		90～130	90～130	—
群馬県	5～10	2～7	1～4	70～100			○	60～160	55～160	—
長野県	8	5	3	95～97			○	65～92	63～82	—
山梨県	7～15	2～12	2～3	80～100			○	90～160	90～160	110～130
新潟県	8～15	2～6	2～8	90～100			○	85～105	85～100	—

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
東京都	高力ボルトの需給緩和は市場ではあまり実感が無い。特にメッキボルトは入手困難な状況が続いており、7か月待ちである。
千葉県	物件の決定が遅延の為、稼働率低下。思いの外仕事量がうすい。人材確保が困難。来年度の引合いが少ない。HTBが1ヶ月位で入荷するようになったが、メッキはまだ入手困難(6～8ヶ月待ち)
神奈川県	来春以降の出荷が多く出ている。山積みはばらつきが大きく、Mグレードでも1か月～8.5か月となっている。秋の台風の影響がまだあり、鋼材の納期、一次加工の納期に時間がかかっている。
茨城県	8月からの引合いの無さが気になっていたが、年末ここきてその影響が出てきていて暇になっています。現状は、地元の小さな案件をかき集めての忙しさはあるが、稼働率は60%程度今年は落ち着いた年末になる分、いろんな意味で年明けにしわ寄せがくる感じです。大手ファブも今は秋口に向けての中休みとの声もあります。用途的には、やはり物流倉庫がメインで、工場増築・新規・都心部ホテル・福祉関連等の引合い案件が多いです。単価に関しても、下がり気味ですが年末頑張り処。いよいよオリンピック開催に伴い今年夏場の首都圏の案件の動きが気になります。その後の需要も2022年まではかなり計画は聞こえておりますが、計画で終わらなければ良い。 来年初秋以降の引合物件が増えていきます。構造は物流倉庫等の大型物件が主体です。又ホテル案件は昨年同様の引き合いが続く。材料は落ち着きが見えるが、オリンピック以降また一昨年の時と同様混乱の予想...
埼玉県	11月14日埼玉県民の日開催の県庁オープンデーに今年も出展した。来場者は過去最高の12,500人とのことで盛況であった。その中で、組合として昨年と同様にアンケートを実施したところ、小学生向けの「将来の夢」、中学生以上向けの「将来やりたい仕事」での建築関係と回答した人は昨年は1人であったが今年は10人に増えた。改めてPRの大切さと、この回答者の気持ちを絶やさぬようにするためには業界総体としての継続的な活動となっていくことが大事と考える。
栃木県	・高力ボルトの影響は緩和されつつある。・地場の物件が少ない。・見積物件が少なくなってきた企業も出てきた。・輸送トラックの手配難及び輸送費の値上げ。
群馬県	HTBの需給状況は沈静化してきた感があるが、見積物件数が少なく来年初からの工事が見えてきません。また単価が下がる傾向にあり、不安を感じます。
長野県	・来春～初夏の着工に向けて、見積が出始めた。・関東物件の引合いが少なくなっている感がある。・オリンピック時の仕事状況が不透明。・中小物件が少ない。大型物件を部分的に生産している。
山梨県	高力ボルトの入手難は全体的に解消しつつあるものの、メッキHTBの入手難はまだ続いている。
新潟県	来年度新入社員教育は15名の参加が見込まれ、4月から実施する計画でカリキュラム・講師の選定を行なう。 これからの冬期から春先に向かって案件数・手持工事量とも減少していくとの声が聞こえるようになってきた。一方で、夏頃からは仕事量が増えてくるとの情報もあり、安値受注に走らないよう、会員間での情報交換が重要となってくる。

< 関東支部 > 状況報告書

2019年(令和元年) 12月分

提出日 令和2年1月7日

提出日 平成27年12月7日

(A)		①全構協進事業の現状	②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等		関東支部活動・行事等
東京都	13日PA検査法確立WG、16日M会理事会・忘年会、19日～工場審査サポート		・18日 第4回関東支部運営委員会
千葉県	6日(金)中央会事務局責任者協会 視察研修		・23日 第5回関東支部会
神奈川県	5日 役員会、14日 青年部会研修会・忘年会、21日 RJNグレード部会研修会・忘年会		・16日～20日 23日～27日 UTレベル1基礎講座(千葉会場)
茨城県	1日 UT実技講習会(2日目) 12日 事務局職員歓送迎会 3日 建築関連団体交流会 14日 県西支部忘年会 6日 第5回理事会・役員忘年会 21日 東関東非破壊検査研究会忘年研修会 9日 県建産連役員会 22日 東関東非破壊検査研究会ゴルフコンペ 11日 中央会組合職員研修 その他 外国人技能実習機構立入企業監査6社等		
埼玉県	4日(水) 総務委員会 17日(火) 青年部会役員会 5日(木) 県南支部会 17日(火) 県東支部会 8日(日)～9日(月) 県北支部会 20日(金) 県西支部会 11日(水) 理事会 24日(火) 技術委員会		
栃木県	12/5 性能評価審査(1社)、12/5 県央・安足合同支部会、12/7 青年部全体会議・忘年会、12/10 栃木・塩那・芳賀合同支部会、12/11 賛助会忘年会、12/19 定例理事会・理事忘年会		
群馬県	11日～24日 サポート6社実施、19日 青年部全員協議会		
長野県	7日(土)青年部役員会、18日(水)臨時技術委員会		
山梨県	3日 山梨県中小企業組合等事務連絡協議会 21日 忘年会 7日 溶接JIS検定 アーク溶接特別教育学科講習(高校6校) 10日 理事会 北杜(14,15)、甲府工業(21,22)、 13日 認定職業訓練事業監査 峡南(21,22)、富士北稜(25,26)、 18日 労働災害防止団体等連絡協議会 韮崎工業(26,27)、甲府城西(27,28)		
新潟県	12/06 第2回正副理事長会議、12/16 青年部会「働き方改革」講習会 12/18 第4回出張理事会(長岡市)、12/3、5 工場審査(2工場)		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
東京都	12	3~6	2~3	90~100		○		95~130	110~130	—
千葉県	3.0	2~6	1~5	70~100		○		100~155	95~160	200
神奈川県	8~11	0.5~7.8		50~100		○		50~180	60~140	135~175
茨城県	1~2	4~6	10	80~100		○		70~95	70~90	—
埼玉県	5~12	3~8	1~5	60~100		○		80~210	73~220	—
栃木県	8~12	3~7	2~4	80~100		○		90~130	90~130	—
群馬県	5~9	3~8	1~3	60~100			○	60~160	55~160	75~95
長野県	5~12	2~6	4	96~100			○	70~125	70~120	—
山梨県	8~17	1~11	2~3	80~120			○	75~160	70~160	100~130
新潟県	2~5	3~5	8~12	85~95			○	85~100	80~105	—

(C)		現状と今後の状況の見通しについて
都道府県		
東京都	仕事量は引き続き多いが、ここきて価格の下げ圧力が徐々に強まりつつある。	
千葉県	決定分件であるが、契約に至らないので手持量としては少ない。全般に分件が少ない。情報の共有化がさらに必要。 受注単価に大きな変化はない。 アンケートでは材料費がポルト類を含むとの事だが、例えばH鋼90円/kg トルシアS10T300円/kgとだいぶ違うので別の方法が良いのでは？ 人材募集をしても応募がない。5～8月の物件が少ない。見積物件が2割減。	
神奈川県	HTBの納期は改善した様子だが、F8Tに関しては量により最長で3か月ほどかかるとの事。 各社山積み大きな差があり、値崩れの話しが聞かれるようになってきた。	
茨城県	まどまった物件の引き合いは秋以降で、春から夏にかけてが少ない。 実習生事業とエンジニアとアウトソーシングを検討中	
埼玉県	総じて稼働率が若干低下している。これは、図面承認と資材納期の遅れ、それに伴う製作工程の見直しによる影響とみている。	
栃木県	・地場の物件が少ない。・働き方改革について各企業取り組んでいるが、中小規模企業は苦慮している所が多い。	
群馬県	来年秋以降の物件が動きはじめているが、直近の仕事量が薄い。また単価の下降が目立つ。	
長野県	・地元物件は、激減(小物件しか無い) ・関東物件は、4月以降の引合いが少なくその先も不透明。 ・令和2年は、中小物件物件が少なく大型物件を部分的に加工する予定である。(Mグレード)	
山梨県	・全体的に、引合物件が少なく、4～11月末現在の件数比率で前年比約40%減少している。 ・県内の労働災害死亡件数は過去最低は7人であったが、今年は11月現在2人で特に建設関係の死亡災害はゼロであ 年末年始の無災害運動を業界をあげて推進している。	
新潟県	稼働率は若干下降傾向にあり、見積物件数も減少している。この現象は来年の春先まで続くものと思われるが、来年後半からは仕事量が増えてくるとの情報もあり、安値受注に走らないよう、会員間での情報交換が重要となってくる。	

< 北陸支部 > 状 況 報 告 書

2019年(令和元年) 11月分

提出日 令和 2年 1 月 8 日

(A)

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等
富山県	19日(火) 第2回理事会 22日(金) 青年部会・日本製鉄(株)君津製鉄所 見学	21日(木) 全構協・第6回理事会(大阪)
石川県	1日(金)～5日(火) NDI-UTレベル1受験基礎講習会 1日(金) 第3回金沢支部会 9日(土) JSCAとの勉強会(CK金属見学:富山) 15日(金) 秋田国際教養大学図書館、千代田興業見学研修 16日(土) オリンピック施設見学 22日(金) 北陸三県青年部合同研修(日鉄君津製鉄所 見学研修) 27日(水) 「鉄骨工事で見落としがちな副資材」講習会	
福井県	5日(火) UTレベル1学科講習会 11日(月) 共同受注委員会 12日(火) 福井県鉄工業協同組合連合会 第37回鉄工まつり 14日(木) 定例三役会、定例理事会 20日(水) 認定部会役員会、講師例会 23日(土) 青年部会例会 26日(火) 総務委員会	

(B)

① 手持工事量(ヶ月)				② 稼働率(%)	③ 見積物件の傾向			④ 工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	5～11	3～6	2～4	80～100			○	110～130	90～110	～
石川県	3～12	2～3	1～2	80～100		○		90～130	75～120	～
福井県	5～11	4～7	1～3	80～110		○		100～160	—	—

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	大型物件の端境期が続いているため大手ファブは操業率が落ちてきており、盛り上がりの欠いた状態で推移しているが仕事量は確保しているので焦りは無い。中小ファブは、高力ボルト手配が解消に向かっており、RC造や材木造が鉄骨にすぐ変わるはずもないが、少しずつ物件数は上向いてきている。ここに来て鋼材価格が下落しておりGCの指値が厳しくなっている。反面、鋼材以外の諸コストが上昇しており安値にに応じない姿勢を維持しようとしているが、一部では安値受注もみうけられ市況は弱含みで推移している。
石川県	図面承認の遅延から、前月に引き続き仕事が延びて工場に空きが出て厳しい状況が続いているところもあるもよう。見積もり物件は減少傾向にあり先行き不透明感が増している。図面承認遅延は永年の問題だが一刻も早く改善したいものである。今後も高力ボルトの納期と受注単価には十分な注意が必要。
福井県	・稼働率は依然として変化ないが、見積引き合いが端境期にあって来春から来夏にかけてMグレード以下の受注見込みに不安がある。今後は大型物件受注獲得に向けて協力体制をより強化する必要が出てきている。 ・鋼材と高力ボルト入手状況について施主やGCの理解が徐々に浸透して、工期設定も比較的適正なものに近づいている感がある。昨年来の陳情活動等の効果が大きいと思われる。

< 北陸支部 > 状 況 報 告 書

2019年(令和元年) 12月分

提出日 令和2年1月8日

(A)

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等
富山県	22日(日) 青年部会・ファミリークリスマス餅つき大会	2日(月) 全構協・技術委員会ワーキング
石川県	3日(火) 第5回青年部役員会 7日(土) 能登支部会(和倉) 11日(水) 第6回理事会、忘年会 20日(金) JSCA石川との忘年会 21日(土) 青年部忘年会	
福井県	4日(水) 共同受注委員会 6日(金) 認定部会役員会、認定部会青年部会合同忘年会 12日(木) 定例三役会、定例役員会	

(B)

① 手持工事量(ヶ月)				② 稼働率(%)	③ 見積物件の傾向			④ 工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	6～12	4～6	2～5	90～120			○	110～130	90～110	～
石川県	3～12	2～3	1～2	70～100		○		90～130	75～120	～
福井県	5～10	4～7	1～3	80～110		○		110～170	—	—

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	大手ファブの手持ち工事量が多いが、見積物件数が低迷している(来年半ばには回復すると思われるが)。工場稼働率については図面承認の遅延・建方日の変更等により上下しているが引き続き高水準を維持している。中小ファブは高力ボルト問題は収束しつつあるが、仕事量には十分とは言えない。工場の空き具合を見ながら大手ファブの下請をするなどして不足分を埋め、単価を下げない様になっている。
石川県	工事の遅延、図面承認の遅延のため、今月も工場に空きが出てている企業もある。Hグレードは全体的に来年の仕事を確認しているが、M、Rグレードでは稼働率や受注残に企業間で差がある。見積もり物件は減少傾向のため、隣県からの低価格受注も見受けられ、十分な注意が必要。先行きの不透明感が増している。
福井県	・県内大型物件の見積引き合いが進行中である。反面、中小物件は少なくMグレード以下の組合員は来春以降に不安を抱えている。受注単価は比較的良好であるが、国内経済の見通しと需要の落ち込みを鑑みると安心はできない。 ・業績調査結果によって明らかなように、県内企業では売上・利益とも多くの企業で上昇していると同時に従業員の採用難に苦慮する企業が殆どである。

< 中部支部 > 状 況 報 告 書

2019年(令和元年) 11月分

(A)

提出日 2020年(令和2年)1月7日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等		中部支部活動・行事等
岐阜県	2 日 (土) 飛騨支部会 11 日 (月) 岐阜支部会 13 日 (水) 西濃・東濃支部会 14 日 (木) 中濃支部会 22 日 (金) 理事会 27日(水)～12/1(日) 超音波探傷(UT)レベル1基礎講座 講習会		21 日 (木) 全構協:理事会 出席
静岡県	7日(木)～8日(金) 役員視察研修(鹿児島県、宮崎県) 27 日 (水) 三役会、運営委員会、技術委員会、役員会		
愛知県	11 日 (月) 女性部会(工場見学) 12 日 (火) 技術委員会 15 日 (金) 女性部会 19 日 (火) H部会 26 日 (火) 東三河支部会 28 日 (木) 溶接:学科講習会 27日(水)～12/1(日) 超音波探傷(UT)レベル1基礎講座 講習会		
三重県	8日(金)～12日(火) 超音波探傷(UT)レベル1基礎講座 講習会 19 日 (火) 令和元年度 後期性能評価サポート 29 日 (金) 第7回理事会		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	3～9	3～7	1～6	70 ～ 130		○			60～150	
静岡県	9～15	3～9	2～5	65 ～ 110			○	80～150	65～140	
愛知県	8～24	5～7	1～4	80 ～ 120		○		75～110	70～100	90～130
三重県	10～11	1～9	1～7	30 ～ 140		○		70～200	65～180	90～105

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	・高力ボルト(M16、20)の入手が徐々に改善されてきたが価格は高い。M22以上や首下の長いものはまだ時間がかかる。 ・仕事量は春先くらいまで薄いような状態が続く。 ・来年4月以降工事受注はなかなか見えてこない。 ・ボルトの問題は、ほぼ終息しました。ただし、ボルト問題の影響なのか、発注先が少なく感じる。
静岡県	・纏まったロットの高力ボルトの入手状況についても、やや納期が緩んできている模様。直接ゼネコン取引のあるファブの受注山積みについては、各社ボルトの入手可能月まで確保している模様。関東地区工事量は2020年秋口からの製作工期の大型物件を中心に引き合いが増えてきている模様。静岡県内の地元案件についても、若干増えてきていると推察される。 ・仕事量はあると思うので、材料確保と仕事の適正価格をしっかりと維持していくことが大切と思われる。 ・見積書依頼も含め山積みが低いファブが目立つようになった。ボルト関係は多少改善されているようなので、来年にかけて価格も下がっていくのではないかと。
愛知県	・グレード規模を問わず多くの組合員が、2020年度の仕事量の減少と価額競争が始まるのではと不安感に襲われている。 ・ゼネコンレベルでは既に安値受注価額競争が始まっていると聞く。 ・業界内の不景気を予測する意見が多くなってきた。 ・高力ボルトの切迫感が落ち着いたと思ったら今度は仕事量の心配で不安定な業界だ。 ・こういう時こそ、正確な情報を共有して乗り切ってもらいたい。
三重県	・現況としては、各社忙しい状況が年内続くと見られるが、来年春先からは物件が減少するのではという意見あり。 ・受注価格が減少基調になっているので注意が必要。

< 中部支部 > 状 況 報 告 書

2019年(令和元年) 12月分

(A)		提出日 2020年(令和2年)1月7日	
①全構協推進事業の現状		②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等	中部支部活動・行事等	
岐阜県	4 日(水) 西濃支部会 12 日(木) 岐阜支部会 13 日(金) 中濃・東濃・飛騨支部会		
静岡県	6日(金)~10日(火) 超音波探傷(UT)レベル1基礎講座 講習会 18 日(水) 三役会		
愛知県	6 日(金) 名古屋北支部会 7 日(土) 公明党愛知県本部団体懇談会 出席 8 日(日) 青年部:クリスマス会 10 日(火) 技術委員会 11 日(水) 溶接:実技講習会 18 日(水) 溶接:試験		
三重県	3 日(火) 性能評価サポート 実施 6 日(金) 性能評価サポート 実施 11 日(水) 第2回働き方改革推進講座 17 日(火) 第8回理事会 25 日(水) 性能評価サポート 実施		

(B)										
①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	3~8	2~8	2~7	80 ~ 120		○			60~120	
静岡県	8~12	3~10	3~5	60 ~ 120			○	90~150	70~125	
愛知県	6~24	3~9	2~4	60 ~ 120			○	75~130	70~115	90~130
三重県	10~11	1~8	1~7	80 ~ 150		○		70~180	65~140	90~160

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	・高力ボルトについてはだいぶ落ち着いてきたようだ。 ・仕事は先まで決まっているが、その間に埋まっていない時期もありバラツキが見られる。 ・働き方改革。まともに対応していたら中小零細企業は今後経営が成り立つのだろうか不安視する意見あり。 ・1～3月は仕事量が少ない。 ・加工費が下降しているので、現状をキープしたい。
静岡県	・続まったロットの高力ボルトの入手状況についても、納期が緩んできている模様。関東地区工事量は、2020年ゴールデンウィーク頃から夏場の製作工期の物件が薄い状況。工期の大幅な延期や中止(?)と疑わしき物件も出始めている。秋口から年末の製作工期の物件は、大型物件を中心に引き合いがやや回復し始めてはいるが、全体的に一般の鉄骨建築は、2020年度は2019年度よりもやや低調になるのではないかと。 ・仕事の適正量はあると思われるので、適正価格を維持していくことが大切。 ・高力ボルトの納期は大分改善されたようだが、来年の春以降は仕事が少なくなるかもしれない。
愛知県	・上位グレードの構成員が、川下に受注活動を展開を始めた。 ・受注活動は自由とはいえ、「節度のある営業姿勢を！」と、全構協から会報等で呼びかけて欲しい。 ・秋口から、構成員の受注格差が一段と大きくなってきた。 ・2020年の前半の不景気感に惑わされず乗り切って、夏から秋の後半戦に備えて欲しい。 ・JISの溶接検定試験が、外国人の受験者の増加で、受験機会が少なくなっている。対策を御願いたい。
三重県	受注価格に減少傾向が見受けられるという意見が多くなってきている。

< 全構協近畿支部 > 状況報告書

2019年(令和元年) 11月分

提出日 令和元年12月5日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県	12日 湖南ブロック会 13日 認定工場部会	2日 全青会・近畿ブロック全国大会実行委員会 超音波探傷(UTレベル1)基礎講座 15日～19日 第1回 20日～24日 第2回 16日 近畿支部事務局全体会議 21日 全構協第6回移動理事会 28日 近畿整備局との意見交換会 28日 近畿支部共済推進会議
京都府	16日 青年部役員会 22日 (株)マツダ工場見学	
大阪府	7日 運営共済事業委員会 8～10日 UT実技講習会 10日 東大阪支部・市内支部合同支部会 13日 日鉄ホール 本社工場見学、技術委員会 27日 北大阪支部会	
兵庫県	8日～9日 移動理事会(北海道) 22日令和元年組合特別 行事(有馬)「1時間でできる経営分析、演習」	
奈良県	1日 中北和支部会 19日 三役会、第5回理事会	
和歌山県	2日 近代化委員会・懇親会	

(B)

①受注物件件数(カ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	6～12	4～8	1～4	80～110		○		75～140	70～80	～
京都府	11～12	7～8	3～4	90～100		○		80～100	80～120	～
大阪府	8～12	3～5	2～3	70～100			○	80～120	70～120	95～130
兵庫県	8～10	3～6	2～3	80～100		○		80～90	70～80	～
奈良県	～	5～10	2～3	80～100		○		90～120	60～110	～
和歌山県	8～12	8～10	4～8	80～100			○	80～120	70～100	90～120

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	見積もり量の減少も聞こえてくるが各社まちまち。足元の加工量も減少は聞こえるが今後の増加は期待できる。価格の維持に努めるべき。またこのような現状では過去と同じ轍を踏まないためにも事業所間で山積情報を共有し山谷を平滑にする必要がある。
京都府	引合い物件減少傾向に感じる。高力ボルト問題の納期は現在4ヶ月程度と緩和されて来た。共同積算情報システムを多くのファブが利用する事で今後の対策に活用して行きたい。今月に入っても見積件数は少なく、年明けは年内から頂いている話の分だけで春先に向けての仕事が決まっていけない状態である。夏場までは今年と同じような忙しさが続きそう。夏以降がどうなっていくかまだ見えてこない。3～4月空きが有ります。4月以降受注物件予定物件を含めると来年12月まで山積みがうまりそうです。来年夏以降材料ボルト注意が必要かと思っています。2月～3月は元図面が決まらず物件確定できず。3月から大型物件が始まる7月ころまで忙しい。HTBの入荷に合せて物件が動き出す感じ。
大阪府	HTBの納期はやや改善の兆しがうかがえ、少量(1t以下)であればメーカー在庫で1ヶ月程度で入荷。手持工事量は、年内から年明けまで全体的に8割程度であろうか。来年の春・夏は満腹感はない。新規物件の動きは少なく、6月以降の物件引合は多い。秋以降に物件がまとまって出そうな予想。
兵庫県	今月に入って高力ボルトの納期が少し緩和されてきたとの情報あり。M22の長いサイズ、メッキなどは従来と変わっていないようであるが、徐々に緩和される事を期待したい。仕事量の方も各グレードとも堅調な模様。
奈良県	来年に向けて、見積もりが少なくなってきた様に思います。少し落ち着いて来た感じが見受けられ、来年春先頃の仕事が心配です。ボルトの問題に関して、若干落ち着いて来た様に感じます。
和歌山県	今春からのボルト供給難によって、秋口の鉄骨発注が見送られたために、工場山積みに空きが見られるが、鉄骨自体の供給が、人手不足のためバランスが取れているように見える。来春の需要に期待し、今は価格安定に努めたい。

< 全構協近畿支部 > 状 況 報 告 書

2019年(令和元年)12月分

提出日 令和 2年 1月 8日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県	11日 理事会 17日 青年部会(フェスタ反省会)	6日 全構協 第4回近畿支部会 6日 第1回 鉄構交流会 7日 鉄構交流会ゴルフコンペ 7日 全青会近畿ブロック ヤマトスチール工場見学会
京都府	3日 理事会 16・19・23日 工場サポート 18日 塗料拡販廻り 21日 隅肉溶接講習会 21日 京都青年部役員会	
大阪府	11日 定例理事会 13日 東大阪支部会 18日 南大阪支部会	
兵庫県	5日 運営委員会 26日 サポート 1社	
奈良県	9日 鉄構組合・賛助会員合同忘年会 20日 第3回共済・経営近代化委員会	
和歌山県	2日 近代化委員会・懇親会 12日～13日 青年部研修会・懇親会	

(B)

①受注物件件数(カ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	6 ~ 12	4 ~ 10	2 ~ 4	70 ~ 110		○		75 ~ 140	70 ~ 85	~
京都府	12 ~ 12	1 ~ 8	1 ~ 5	80 ~ 100		○		80 ~ 110	80 ~ 110	~
大阪府	8 ~ 11	1 ~ 6	1 ~ 3	50 ~ 100			○	80 ~ 120	70 ~ 110	90 ~ 125
兵庫県	8 ~ 12	3 ~ 6	2 ~ 3	70 ~ 100			○	80 ~ 100	70 ~ 80	~
奈良県	~	5 ~ 6	2 ~ 3	80 ~ 100		○		90 ~ 130	65 ~ 120	~
和歌山県	8 ~ 12	8 ~ 10	4 ~ 8	80 ~ 100			○	80 ~ 120	70 ~ 100	90 ~ 120

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	前月同様、足元の山積み～春先までスポットで空きの期間がある工場も聞かれる。しかしながらその後の予定は現在の見積もり物件であり、まずまず持ち直しが期待される。Hグレードは20年後半の、M・Rグレードは夏頃の予定が年明け～2月頃に聞こえてこないとある種の潮目の変化と捉えて良いだろう。関西では来年以降も大型物件予定は堅調との情報は多いため期待は出来る。
京都府	春先の小規模物件が動き出しています。ボルトの納期も緩和されて来ています。見積物件の条件に4月以降着手予定として提出。地元物件も小規模ながら出てくる見通し。年明けから2月3月は昨年から話を頂いていた仕事はあるものの見積物件も少ないので春先にかけての仕事が決まるか心配。
大阪府	Hでは、1～4月の仕事量は安定気味、秋以降も需要が多い予想。M及びRでは、見積件数が減少し始めて4か月以上経過し、来年3月以降の物件の動きも悪い。夏以降の物件もはっきり読めない。鉄骨需要量として500万tどころか400万t割れしたリーマンショック後の様な状態になる恐れもあるのでは。ボルトの影響+景気後退のダブルパンチになる恐れもある。価格も値下がりする環境になる。また、人手不足と働き方改革が更に押し掛かってくると思われる。
兵庫県	鋼材自体も動きが芳しく無く、見積もり、引き合い共、減少しているように思われる。M22、メッキボルト以外の高力ボルトの納期が緩和されてきたのにもかかわらず先行き少々不安な様子。
奈良県	今年度内は受注残は有るものの、新年度～秋頃までの仕事が少ない様子です。物件見積もりは多く、春頃まで忙しいが、HTB(ボルト)の入りが悪くない状況です。大手の鉄工所、商社が夏頃の案件を安値受注しており、単価の下落が起きています。
和歌山県	先月と変わらず需要は低迷しているが、人手不足のためか工場の空気が大幅に増えているようには見えない。引き続き山谷の情報を共有し、価格が安定することを期待。

< 中国支部 > 状況報告書

2019年(令和元年) 11月分

提出日 令和元年 12月16日

(A)

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中国支部活動・行事等	
鳥取県	10 日(日)	とっとりものづくりフェスタ	6 日(水)	全構協 運営委員会(東京)
	11 日(月)	東部支部例会	22 日(金)	青年部中国ブロック役員会・研修会(福山)
島根県				: 日本ホイスト(株)本社工場見学
岡山県			27 日(木)	第5回中国支部会
				中国支部 共済推進会議
広島県	9 日(土)	建築学会中国支部 第2回鉄骨製作部会		
	29 日(金)	JSCA法人化30周年記念行事(〃中国支部主催)		
山口県	25 日(月)	青年部役員会		

(B)

①手持工事量(か月)				②稼働率(%)		③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)		多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	11 ~ 17	2 ~ 6	2 ~ 3	90 ~ 110				○	70~120	70~90	80~120
島根県	8 ~ 12	2 ~ 4	1 ~ 2	50 ~ 100			○		80~130	80~130	-
岡山県	6 ~ 15	2 ~ 12	3 ~ 5	90 ~ 120				○	70~90	70~90	90~110
広島県	6 ~ 12	4 ~ 8	2 ~ 7	50 ~ 110				○	60~115	60~110	-
山口県	5 ~ 11	3 ~ 10	5 ~ 6	70 ~ 115				○	90~125	90~135	150

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	年内は落ち着いた状況。年明け後の工事も、繁忙期を脱し一服する模様。来年に向けた見積も少なめで、春先以降の状況に注視していきたい。 鋼材価格は弱含みで推移しており、HTBも、一時期のひっ迫した状況から、工事物件の減少などもあり、少し沈静化に向かいつつある。 仕事が減少気味だが、先にはHグレードから忙しくなると思われるので、価格維持に努めることが大切だと思われる。
島根県	全般に、年明けの1月末くらいまで繁忙な状況。工事の規模は引続き中小物件が中心。 また、高力ボルトの供給問題に関しては、多少落ち着いたが、大幅な改善は見受けられず、安定供給の早期実現が望まれる。 年明け以降に関しては、仕事量が2~3月は落着くファブもあるようだが、4月以降については工事が出て来るファブもある模様。 また、GC間の競合が目につく様になっており、安値を出すファブが一部にあるとの声も聞かれる。業界全体で価格維持に努めて行きたいものだ。
岡山県	例年であれば工事の発注シーズンであるが、本年に関しては土木優勢で建築が今一步の年である。 都心の仕事をやるHグレードは相変わらず好調だが、M以下の地元を相手とする工場では、少し苦戦する者も散見される。 ボルト問題の対応等、本来対応すべきことができていない「つけ」を支払う事になりそうな状況である。
広島県	稼働率100%以上と回答の企業が約7割を占めており、稼働率は依然としてかなりの高水準で推移している。 手持ち工事量は、Hグレードで6か月から1年、Mは4~8か月、R以下は2~7か月と、最低年内は確保されているが、全体的に減少気味。 今後の見通しはグレードにより異なり、Hグレードを中心に来年夏以降の繁忙期到来を確実視するが、一方で、Mの一部とRグレード以下では、物件や見積の長期減少傾向から、来年夏以降の先行きを不安視する声も聞かれる。 そうした中、GCの競争激化や取極金額の指値低下から、建築業界の景気下降を疑う声があがり、懸念される。 ボルト問題は相当程度改善されたものの、依然として、工事の受注手控え等の影響報告がされているほか、「商社筋から来年春に再度、需給がひっ迫するとの話が合った」と報告するファブがいるなど、今後の動向には目が離せない。 色々懸念材料はあるが、今行う価格維持の努力が、来年の繁忙期における業界全体の利益確保に繋がることを信じ、足並みを揃え行動しよう。
山口県	「上位グレードの端境期や図面承認遅れ、工期変更の影響で60~80%の稼働率。」「受注物件数が減少し、「工事受注は建て方の3~6ヶ月前にできるが、工期が大きすぎる」という声が多い中、一部地域では、「繁忙期で外注に頼る状態。今後さらに物件が重複するだろう。」と話すなど、地域による格差が生じている。 しかし、繁忙地域でも「例年になく見積物件が少ない。特に次年度以降は未だ見通しがたらず不透明。」と話すなど、全体的に見積は減少気味。 工事単価は、鋼材の値下がりによる一時的な低下はあるが大きな変動は無い模様。材料費は、そろそろ反転気配のため春先からの価格は要注視。 ボルト入手の状況は相変わらずタイトで、トルシア型で2~4ヶ月、F8Tは6ヶ月以上だが、今月に入り徐々に改善が見られると話すファブもいる。 鋼材調達も全体的に落ち着き、GC等の鉄骨工事の発注予定にも余裕が出始めたようで、しばらくの間は、新規工事予定が少なくなりそうだが、その先の繁忙期に向けて価格維持に努めたい。

< 中国支部 > 状況報告書

2019年(令和元年) 12月分

(A)

提出日 令和元年 1月10日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中国支部活動・行事等	
鳥取県	9 日(月) 13 日(金) 19 日(木) 26,27 日 27 日(金)	東部支部例会 JSCA中国支部鳥取地区会 技術交流会 理事役員会・次世代の会例会、同合同懇親会 年末安全パトロール 第1回人材確保PR支援検討委員会	2 日(月) 3 日(火) 12 日(水)	全構協 技術委員会(東京) 全構協 運営委員会(東京) 全構協 企画委員会(東京)
島根県	6 日(金)	役員会・忘年会		
岡山県	4 日(水)	理事会・忘年会		
広島県	2~6 日 3 日(火) 7 日(土) 9 日(月)	全構協主催 UTレベル1基礎講座 令和元年度後期 性能評価勉強会 建築学会中国支部 鋼構造シンポジウム 理事会・三役会		
山口県	6 日(金)	第5回理事会・懇親会		

(B)

①手持工事量(か月)				②稼働率(%)		③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)		多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	9 ~ 16	2 ~ 6	2 ~ 6	90 ~ 105				○	70~110	65~100	80~120
島根県	13	2 ~ 5	2 ~ 3	50 ~ 100				○	80~130	80~130	-
岡山県	6 ~ 15	3 ~ 12	2 ~ 5	90 ~ 120				○	70~90	65~90	100~120
広島県	6	4 ~ 11	2 ~ 8	80 ~ 110				○	60~110	60~110	-
山口県	6 ~ 11	3 ~ 6	2 ~ 4	70 ~ 110				○	90~120	90~130	140~150

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	昨年の同時期と比較すると、手持ち工事量は少なくなっている。又、見積り依頼件数も少なくなっており、年度内はこういう状況で推移しそう。 4月以降の工事の予定はあるものの、全体的には減少傾向と思われる。 その中で鋼材価格も安値基調で推移しており適正価格にて受注していた鉄骨工事単価への影響が出ないか心配される。
島根県	各月により稼働率にバラツキが見られる。 また、手持ち工事量も、今年度内の3月末あたりまでの企業や今年中盤くらいまで確保出来ている企業など各社まちまちな状況。 工事量減少による価格の下落に対応するため、業界全体で価格維持に努めて行く必要がある。
岡山県	年度末に向けて各社繁忙な状況となるが、都市圏を顧客としないMグレード以下の工場ではバックオーダーが枯渇しつつある。 この調子で進めば年度明けに一足早い夏枯れ発生の可能性もあり、鉄骨価格下落防止のため、しっかり市場を監視する必要がある。 ここ数年の好調さを今年は期待せず、地道に頑張る事が大事な一年になると考える。
広島県	稼働率100%以上と回答の企業が約7割を占めており、稼働率は依然としてかなりの高水準で推移している。 手持ち工事量は、概ね年度内は確保されており、来年前半までの仕事を確保済のファブが回答数の約4割を占める。 今後の見通しについて、来年後半の繁忙期予想に加え、見積りが少なく不透明ながらも、楽観的予測が拡大しつつある。 そうした中、「広島市内の大型物件が地元受注に繋がりにくい」、「200t~300tクラスの物件の動きが悪い」、「自社物件が少なく、加工応援に頼る状況が続いている。」などと訴えるファブもある。ボルト問題は相当程度改善されている。 地元GCの競争激化に煽られず、来年の繁忙期到来を見据え、鉄骨価格の維持に足並みを揃え今を乗り切ろう。
山口県	一部地域では繁忙期と話すが、多くのファブは仕事が一段落し、稼働率も下がっている様子。 見積り数が減っており、来年度以降の工事予定を注視しているが、ファブ全体で危機感を持って連携を図り、価格維持の踏ん張りが必要な時期。 来春以降は工事量の増加も期待できるため、今のうちに人や場所の対策を検討したい。 今月に入り、高力ボルト不足の状態は改善が見られるが、材料だけでなく、レッカーやトラック等の費用並びに消耗品等が値上がりしている。

< 四国支部 > 状 況 報 告 書

2019年(令和元年) 11月分

(A)

提出日 令和元年 12月17日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	12日(火) 第8回情報交換会 13日(水) 大日本塗料・ダイニツカとの塗料会議 11日(月)・14日(木) AW(再)講習会 30日(土) ゴルフコンペ	1日(金) 四国支部共済推進会議・支部交流会
香川県	13日(水) 建築鉄骨製品検査開催打合せ 15日(金) 交流親睦ゴルフ及び交流忘年会	
愛媛県	22日(金) 理事会・協賛店合同研修会及び懇親会	
高知県	8日(金) 懇親コンペ	

(B)

①受注物件件数(カ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	1 ~ 6	~ 4	~ 3	90 ~ 100			○	70 ~ 115	70 ~ 115	~
香川県	~	2 ~ 5	1 ~ 3	80 ~ 100			○	55 ~ 100	60 ~ 110	~
愛媛県	5 ~ 8	3 ~ 5	3 ~ 8	90 ~ 100			○	50 ~ 100	50 ~ 100	~
高知県	6 ~	3 ~ 9	1 ~ 3	70 ~ 100			○	50 ~ 100	50 ~ 110	~

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	今月も見積り物件が少ない状況が続いている。GCの指値に応じないように注意し、安値受注しないように情報交換をする。
香川県	県内での設計プランの概算見積りは多少あるものの、中小型物件は前月に引き続き見積り件数はやや少ない状況が続いている。Rグレードでは先行きは不透明で不安感もある。半面、県外物件を中心に取り組んでいるFABは今後の見通しは期待できるとするFABもある。
愛媛県	・大部分で来年2月から4月までの受注量を確保、グレード上位でなくとも夏まで仕事量を確保する組合員もある。しかし、見積状況については県内中規模物件以下については大多数の減ってきているか、横ばいと認識である。
高知県	相変わらず見積り件数が少なくなっており、特にRグレードの件数は極端に少なかった。現状は手持ち工事があるが先行きは不安。

< 四国支部 > 状況報告書

2019年(令和元年) 12月分

提出日 令和2年 2月 8日

(A) ①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	2日(月) 青年部幹事会 3日(火) 西部支部会 5日(木) 北部支部会 10日(火) 第9回情報交換会、大日本塗料とダイニツカとの塗料会議 19日(木) 理事会・忘年会 13日・16日(月)～20日(金) UT-2学科講習会	
香川県	2日(月) 第5理事会&忘年会 6日(金) 工場審査サポート 9日(月) 高松支部会&忘年会 10日(火) 西讃支部会&忘年会 20日(金) 県知事要望 24日(火) 工場審査サポート	
愛媛県	5日(木) 東予地区会 14日(土) 青年部例会・忘年会	
高知県	3日(火) 忘年会 懇親コンペ	

(B) ①受注物件件数(カ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	～ 5	～ 4	1 ～ 3	80 ～ 100			○	60 ～ 110	70 ～ 115	～
香川県	～	2 ～ 6	1 ～ 3	80 ～ 100			○	55 ～ 100	60 ～ 100	～
愛媛県	4 ～ 7	2 ～ 4	2 ～ 7	90 ～ 100			○	50 ～ 100	50 ～ 100	～
高知県	6 ～	3 ～ 9	1 ～ 3	70 ～ 100			○	50 ～ 100	50 ～ 110	～

(C) 現状と今後の状況の見通しについて	
都道府県	
徳島県	前月同様、見積もり物件が少なく、特に県内物件が少ない状況が続いている。ゼネコンの指値も厳しいですが、組合員一致団結して安値受注をしないようにする。
香川県	ここ数カ月、県内中小物件の見積もりが少なく年度末までは仕事量もやや低めで先行き不透明感がある。しかし反面、Mグレードでは格差はあるものの県外物件を受注しているFABを中心に4月以降、先行きも明るいと言う声も出ている。
愛媛県	今月も就業時間内での工場操業が多い。県内物件の見積数は少なくなっており、特に南予では目ぼしい地場物件の見積は無さそうとの事。ただ、地場物件の受注単価については各社頑張って希望金額に近い受注単価を維持している。
高知県	相変わらず見積件数は少ないが仕事量は有る程度確保出来ており手持ち工事はあるが先行きは不安。

< 九州支部 > 状況報告書

2019年(令和元年)11月分

提出日 令和元年12月4日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	・ 7日(木) 青年部例会、30日(土) 青年部研修会 ・ 15日(金) 建築鉄骨外観検査講習会 ・ 18日(月) 福岡県建築鉄骨協議会	
佐賀県	11/8 青年部役員会 11/15 役員会・賛助会員との懇談会 11/16 構友会ゴルフコンペ	
長崎県	11/5 長崎県鉄骨研究会 第3回作業部会、11/13 第1回 総務・経対委員会 11/15 第5回理事会、11月例会、賛助会員との懇談会、11/26 長崎県鉄骨研究会「鉄骨施工計画書例」講習会、11/28 青年部・第4回役員会	
熊本県	11/20 理事会・定例会 11/1・6・12・15・19・21・26 技術安全・検査指導研修・パトロール実施	
大分県	11/3～5超音波実技講習会 11/8超音波実技試験 11/14三役会、理事会、認定部会 11/16製品更新実技講習会 11/20製品更新実技試験	
宮崎県	(1)過積載絶滅運動大会参加 (7)宮崎県溶接競技大会開会式出席 (16)鹿児島県との交流会並びに組合ゴルフコンペ・懇親会開催 (17)古川禎久(顧問)特別セミナー参加 (19・20)工場パトロール(22)青年部会幹事会・忘年会	
鹿児島県	11/7静岡県鉄構工業(協)との交流会 11/16(協)宮崎県鉄構工業会との交流会 11/19交通被災者たすけあい協会へ献金 11/29創立50周年実行委員会・理事会・全体会議・忘年会	
沖縄県	・11/5日: 定例理事会、12日: 営業部会、16日・17日: 第65回全国溶接技術競技会沖縄大会	

(B)

①手持工事量(ヵ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
福岡県	6 ~ 12	4 ~ 6	1 ~ 3	100			○	90~130	90~120	—
佐賀県	6	3 ~ 10	1 ~ 3	80~100			○	100~110	100~115	—
長崎県	10 ~ 12	3 ~ 10	—	100		○		70~100	70~90	—
熊本県	5 ~ 8	3 ~ 7	2 ~ 3	99.7			○	80~120	70~120	—
大分県	6 ~ 12	3	—	100			○	105~160	80~150	—
宮崎県	7 ~ 12	3 ~ 7	1 ~ 3	70~120		○		70~100	65~110	75~95
鹿児島県	3 ~ 15	1 ~ 6	1 ~ 3	80~100			○	100~118	65~130	—
沖縄県	3	2	1 ~ 2	90~100			○	120~130	130~140	—

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	手持工事量は順調に推移しているが、見積物件の届け出は少ない。
佐賀県	・手持工事量、工場稼働率共安定はしているが、見積りが少ない状況が続いており、来年度に影響が出るのではないかと。
長崎県	一時期の繁忙期が過ぎ、若干の落ち着きも見えてきている現状である。見積り物件数としては多くはなく、年度替わりから夏に向け小型物件は少ないのではないかと。Hグレードの受注状況は好調の様子であるため、下請けに廻るFabも増えそうである。
熊本県	県内を見積り工事が減っている。住居系のRC造が増えている。
大分県	◎見積もりが少ない。設計事務所にはかなりの案件が有るようだが発注されていない。来年度には発注されると思うが、時期にはわからない。全体として落ち着いているが焦りはない。じっくり待ちましょう。◎図面承認の遅延で困っている。先手を打っても一向に変わらない。来年の見積もりが少ない。RCの物件が増えたように思う。
宮崎県	・グレードに拘わらず手持工事は安定しているものの、オリンピック需要が一服した影響かまたはボルトの品薄が影響しているためなのか、大型物件の見積りが減少傾向にある。
鹿児島県	相変わらずボルトの納期に改善が見られない。図面のチェックバックが遅く時期が集中してしまう。受注物件も工期の遅れや延長が多い。中小物件の引き合いが少なくなってきた。
沖縄県	・図面承認の遅延が他の工事にも影響が出ている。又いまだにボルトの納期に悩まされているのが現状で、10ヶ月程度の以上の案件しか営業できない。

< 九州支部 > 状 況 報 告 書

2019年(令和元年)12月分

提出日 令和2年1月7日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	・11日(水) 理事会・例会(全体会議)・忘年会(賛助会員含む) ・13日(金)～25日(水)5日間 品質向上パトロール	12/4 第5回支部理事会・共済推進会議 12/16、12/18、12/20 九州支部H部会 品質・安全パトロール
佐賀県	12/6 第4回 理事会 第2回 全体会議 賛助会員との意見交換会 12/13 青年部例会 12/14 県工業連合会 反射炉祭り出席	
長崎県	12/10 青年部会事業(PR動画撮影) 12/18,19「建築物等の鉄骨組立作業主任者技能講習会」(出張講師依頼)	
熊本県	12/18 理事会・熊本市営繕課訪問 12/24・26 認定勉強会	
大分県	12/12三役会、理事会、第2回全員協議会、働き方改革セミナー、懇親会 12/20H部会品質安全パトロール同行 12/21フルハーネス講習会、12/27工場審査事前打合せ	
宮崎県	(16)溶接トレーニングシステム シュミレーション開催 (18)企業PRフェア「○○ごっこ」出展	
鹿児島県	12/7青年部会全体会議(溶融亜鉛めっき勉強会)・忘年会 12/18H部会品質・安全パトロール	
沖縄県	・12/2日:定例理事会及び米森会長懇談会・懇親会、6日:建産連専務・事務局長会議、11日:営業部会・忘年会	

(B)

①手持工事量(カ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
福岡県	6 ~ 12	4 ~ 6	1 ~ 3	100			○	90~130	90~120	—
佐賀県	6	3 ~ 10	1 ~ 3	80~100			○	100~110	110~130	—
長崎県	10 ~ 12	3 ~ 10	—	100			○	70~100	70~90	—
熊本県	5 ~ 8	3 ~ 7	2 ~ 3	100.1			○	70~110	70~120	—
大分県	6 ~ 12	2	—	90~100			○	105~120	80~120	—
宮崎県	10 ~ 12	3 ~ 6	0.5 ~ 3	90~120			○	70~100	60~100	75~95
鹿児島県	1 ~ 13	1 ~ 6	1 ~ 4	70~100			○	90~120	65~130	—
沖縄県	3 ~ 4	2	1 ~ 2	90~100			○	120~130	130~140	—

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	手持工事量は堅調に推移しているが、見積物件の届け出が特に少なくなっている。
佐賀県	・手持工事量、工場稼働率は変わらないが、見積りが公共、民間共に少ない。
長崎県	年末、年始にかけて全体的に落ち着いてきている。令和2年はここ数年のような需要はないと予想されているように、各Fabともに夏ごろまではほどほどの受注量で推移していくのではないかと。春、夏の工程管理が大切になりそうです。
熊本県	県内の見積り工事が減っている。
大分県	◎見積もりが少なかったが、増えている。4月以降は若干増えるのではないかと。来年度は小口物件が春先少ないので若干の辛抱が必要だと思う。◎見積りが少ないが設計事務所は忙しいと聞く。物件が停滞しているが2~3ヶ月ゆっくりして夏からの需要に備える。◎元請けの山積みも減ってきているので単価が下がらないよう努力したい。
宮崎県	・現状手持工事量は安定しているものの、昨年秋口から見積り依頼が減少していることから、今後しばらくは手持工事量・稼働率共に下がる事が予測される。
鹿児島県	ボルトの入荷時期が各社不揃いで、早く入るところに仕事を持っていかれそうな心配。ボルトメーカーとの付き合い方でリスクがこれから出て来そうな感じがする。受注物件の図面・工期の遅れが多い。人材不足!! 今後の若手教育がとても心配。
沖縄県	・図面承認の遅れで工場加工に大きな影響があり工期が全然間に合わない。また、受注物件の確認申請が遅れて鋼材の発注ができない状況。中小物件の引き合いが少なくなっている。

企画委員会 事業進捗状況等報告

－「働き方改革」統一目標設定について－

2020年1月17日

企画委員会

2020年1月〇〇日

一般社団法人 〇〇県建設業協会
会 長 〇〇 〇〇 様

(一社)全国鉄構工業協会

会長 米森 昭夫

全構協 〇〇支部

支部長 〇〇 〇〇

〇〇県鉄構工業組合

理事長 〇〇 〇〇

『働き方改革』実施に向けた当協会の統一目標設定について
〔 時間外労働の上限規制対応＜休日の確保＞ 〕

拝啓 時下ますますご清栄のことと、お慶び申し上げます。

平素は、当協会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、鉄構業界においても、『働き方改革』に対する対応が求められる中、2020年4月1日より、当協会の大部分の構成員企業（中小企業ファブ）に対しても、『働き方改革』関連法規が適用されることとなります。関連法規の改正内容の発信等を通じて、会員各社へは、対応内容の周知に努めておりますが、ファブ各社が『働き方改革』に関する認識を持つだけでは、実現が難しいのが実状です。

特に、『働き方改革』関連の各項目の中でも、「時間外労働の上限規制」に関する課題、とりわけ、「現場作業」における働き方（休日取得）については、取引先（ゼネコン等）の影響が大きく、ファブの自助努力だけでは、達成が難しい課題であると認識しております。この状況を踏まえ、法令遵守に向けて、「現場作業」の休日取得対応について、協会として統一目標を設定し、活動を推進して行きたいと考えております。

（※「一般社団法人 全国建設業協会」及び「一般社団法人 日本建設業連合会」が発表している「活動方針・取組み」に沿った活動を、足並みを揃えて推進して行くというものです。）

つきましては、趣旨をご理解いただき、本活動へご協力くださいますようお願い申し上げます

敬具

記

1. 『働き方改革』実施に向けた全構協の統一目標 （別紙）

以上

『働き方改革』実施に向けた全構協の統一目標

<全構協の統一目標（取組み）>

- 「一般社団法人 全国建設業協会」様、「一般社団法人 日本建設業連合会」様が発表している取組みに合わせ、全構協の統一目標として

『現場作業については、第一段階として4週6休とする。
(原則として第2、第4土曜日の現場作業を休みとする。)]』

- 上記内容を、取引先に周知するとともに、取引先と連携して、『働き方改革』の実施、健全な労働環境の確保に向けた活動を推進する。

<取組み実施内容>

- 1)『働き方改革』関連法令適用に伴い、2020年4月1日から活動を開始する。
- 2) 活動においては、対象現場の条件は特定せず、全現場を対象とする。
- 3) 実際の適用については、各社が個別に取引先（ゼネコン殿等）と協議・相談をしながら、相互理解に基づき実施して行く。

以上

「働き方改革」対応に関する今後の活動について

1. 「統一目標設定」文書の取り扱いについて

- ・各地区関係団体、ゼネコン等に「全構協の統一目標設定」文書を持参の上、協議・申入れ実施。
- ・発行元は、全構協会長名に加え、各地区支部長名、各県組合理事長名を適宜追加して使用。

2. 協議・申入れ先リスト整理

- ・「統一目標設定」文書に関して、各支部、各県組合で、協議・申入れをすべき、関係先リストを整理・作成。

<協議・申入れ先 例>

- ・ゼネコン団体：日建連〇〇支部、〇〇県建設業協会、〇〇県建築協会
- ・各社取引先 ゼネコン
- ・各県建築士事務所協会

3. 関係先への展開活動について

※各支部、各県組合は、構成員への周知と指導をお願い致します。

- ・4月からの適用に向けて、2月末を目途に、各関係先を訪問、協議・申入れ等を行って下さい。
- ・新規見積り提出時に、見積り条件書に、取引先と合意できた休日体制を反映して下さい。
- ・必要に応じ、「統一目標設定」文書を見積書に添付して提出して下さい。
- ・適用（開始）時期・対象については、各社取引先ゼネコン等と打合せの上、決定して下さい。

以上